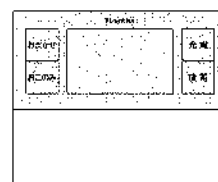
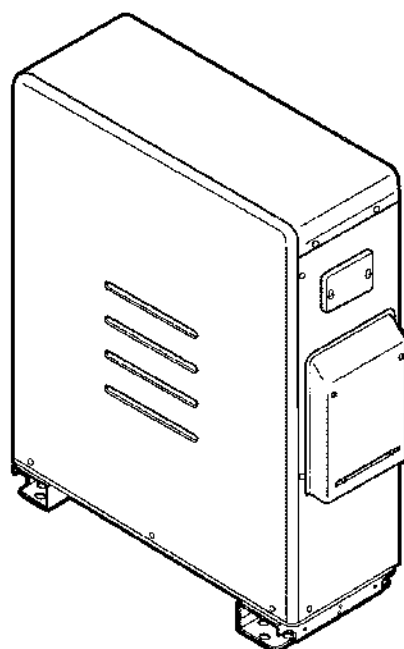


東芝定置式家庭用蓄電システム 取扱説明書

形名

蓄電池本体：ENG-B7430A5-N1
ENG-B7430A5-N2
ENG-B7430A5-N3
ENG-B7430A5-N4
ENG-B7430A5-N5

コントローラ：ENG-C20A5
ENG-C50A5



コントローラ

- このたびは、東芝定置式家庭用蓄電システムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は必ずお受け取りください。

日本国内専用
Use only in Japan



安全上のご注意	3
蓄電システムについて	5
1 蓄電システムのポイント	5
2 蓄電システムの構成例	6
3 蓄電システムの運転モードについて	7
4 HEMS 連動について	8
5 付属品	8
各部の名称とはたらき	9
1 蓄電池本体	9
2 コントローラ	10
3 表示について	11
1. 表示画面	11
2. 電池残量表示	12
3. インフォメーション表示	13
4. 推移グラフ表示	14
4 受付ブザー音について	15
ご使用前の準備と確認	16
1 機器および周辺の確認	16
2 分電盤の確認	16
設定について	17
1 各種設定の内容について	20
2 おまかせ運転設定	22
1. タイマー設定	22
2. 放電残量設定	24
3. 充電容量設定（環境）	25
4. 放電残量設定（停電準備）	26
5. ピーク抑制モード設定	27
6. 押上げ開始設定	32
3 おこのみ運転設定	33
1. タイマー1 設定、タイマー2 設定	33
2. タイマー入切設定	35
3. 充電電力設定	36
4. 放電残量設定	37



4 太陽光自立運転設定	38
1. 充電電力設定	38
2. 放電残量設定	39
5 日付・時刻の設定	40
通常運転について	42
1 「おまかせ」運転	42
1. 「経済おまかせモード」運転	42
2. 「環境おまかせモード」運転	43
3. 「ピーク抑制モード」運転	44
4. 「停電準備モード」運転	45
2 「おこのみ」運転	46
3 「充電」運転	46
4 「放電」運転	47
推移グラフを見る	48
運転終了について	49
停電時の自立運転について	50
1 停電発生時	50
2 停電時の充電	51
3 停電時の運転終了	52
4 停電からの復帰	52
電池チェックについて	53
このようなときには	56
注意事項および故障・異常時の表示と処置方法	58
知っておいていただきたいこと	61
保証に関する免責事項（重要なお知らせ）	63
仕様	64
1 蓄電池本体	64
2 コントローラ	64
保証とアフターサービス	65

安全上のご注意

必ずお守りください

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



危険

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと」を示します。



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明



禁止

⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△ は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

* 1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療・入院・長期の通院を要するものをさします。

* 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

⚠ 危険

生命にかかわるような機器（医療機器など）の電源として使用しない

本機は無停電電源装置（UPS）ではありません。停電時及び停電からの復帰時には、一時的に無通電状態になります。



禁止

⚠ 警告

アースがとられていることを確認する

故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。
この蓄電池本体はアース（D種接地工事）が必要です。



指示

蓄電池本体の脚が固定されていることを確認する

転倒してけがや事故、故障の原因となります。



指示

蓄電システム用分電盤が設置されていることを確認する

感電、火災の原因になります。



指示

分解・修理・改造をしない

火災や感電・事故の原因になります。

蓄電池本体やコントローラの移設・修理や機器の保守・点検をする場合は、必ず担当の販売店または工事店に依頼してください。



分解禁止

蓄電池本体の上に乗らない

けがや事故の原因になります。

機器の上に乗ったり、腰かけたり、寄りかかったりしないでください。



禁止



安全上のご注意

可燃物を蓄電池本体の周囲に置かない

火災の原因になります。

蓄電池本体の周囲に紙や木材など燃えやすいものや、スプレー缶やカセットこんろ用ボンベ、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれがあるものを置かないでください。



禁止

引火のおそれがあるものを蓄電池本体の周囲で使用しない

火災の原因になります。

蓄電池本体の周囲でガソリン・ベンジンを使用したり、スプレー、薬剤散布、塗装作業などをしないでください。



禁止

蓄電池本体の吸気口、排気口近くに落ち葉などためておかない

落ち葉などがたまると昆虫などの小動物が吸気口、排気口から浸入しやすくなり、火災の原因となることがあります。点検して取り除いてください。



禁止

蓄電池本体の吸気口、排気口に金属類や燃えやすいものなどを入れない

感電、火災の原因になります。



禁止

配管、配線に無理な力を加えない

配線が損傷したり、接続部がダメージを受け感電、火災の原因になります。



禁止

屋内など閉鎖された場所に設置しない

火災や事故の原因になります。

屋外であっても波板やビニールなどで囲んで閉鎖状態にしないでください。



禁止

⚠ 注意

運転中や運転停止直後は排気口部にふれない

高温のため、やけどすることがあります。



禁止

蓄電池本体の排気口周囲に植物やペットを置かない

植物が枯れたり、ペットの健康に悪影響をあたえます。



禁止

落雷時は停止する

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。雷が発生したときはすみやかにコントローラの〔運転 切/入〕ボタンを押して運転を停止してください。



指示

コントローラに水をかけない

故障・作動不良・音異常の原因になります。

また、お子様がいたずらしないように注意してください。



禁止

ラジオ・テレビなど、電波を利用する機器は蓄電池から5m以上離す

電波の受信に影響が出るおそれがあります。



指示

蓄電システムについて

蓄電システムは、電気料金の安い夜間に電気を貯めておいて、いつでも貯めた電力を活用できるバックアップ電源です。なお、蓄電システムからの売電はできません。

1 蓄電システムのポイント

電気をお得に使うため、エネグーンだからできる《選べる》電気の使い方のご提案です。
ライフスタイルやご要望に合わせて、その人に合った使い方ができます。

How to use

電気の使い方を、
エネダーンがご提案します。

シンプルでカンタン。エネルギーがあなたに代わって快適な電気の使い方をご提案。あなたの生活に合わせて4つの使い方をご提案いたします。

電気をお得に使いたい！

経済おまかせ
モード

電気料金が安い時に貯めて、電気代を減らす経済的な運転が可能です。① 太陽光発電と組み合わされば、さらにお得な運転が可能になります。

※1：衣巻仕立の要領が必須です。また、家庭内での使用状況によって目元氣代を改訂しています。必要に応じてご相談ください。

なるべく電気を買わずに、
太陽光から貯めた電気で暮らしたい！

破壊おまかせ
モード

太陽光発電設備で、自然エネルギーを活用して電力会社からの買電
量や環境負荷(CO₂)などを減らします。日中に使いきれなかった
太陽光で発電した電気は、貯めて夕・夜に使用することができます。

深夜に貯めた電力を
ピーク時に使いたい！

ピーク抑製
モード

朝と夕の家庭内の使用電力が多い時間帯に、ピーク電力を抑制するように放電運転します。＊：契約電力を見直し、毎月支払う電気の基本料金を下げることも可能です。

※1: 〇-〇は印刷誤植、①: 5:00-8:00、②: 17:00-20:00
 ※2: 〇-〇は印刷誤植、①: 5:00-8:00、②: 17:00-20:00

[illegible]

急な停電に備えたい！

停電準備
モード

蓄電残量を高めに残して運転することで、災害警報・予報などの有事に備えて、急な停電でも長い時間安心して使用できます。残量の少ない時は、急速充電で素早く設定量に達します。

* 二、消費者協會、消費者保護協會的登記與管理在2011年實施

How to use
使い方 2

あなたにぴったりの電気の使い方に、
カスタムメイドできます。

おこのみモードであなたのライフスタイルにぴったりな、最適な使用方法にカスタムできます。

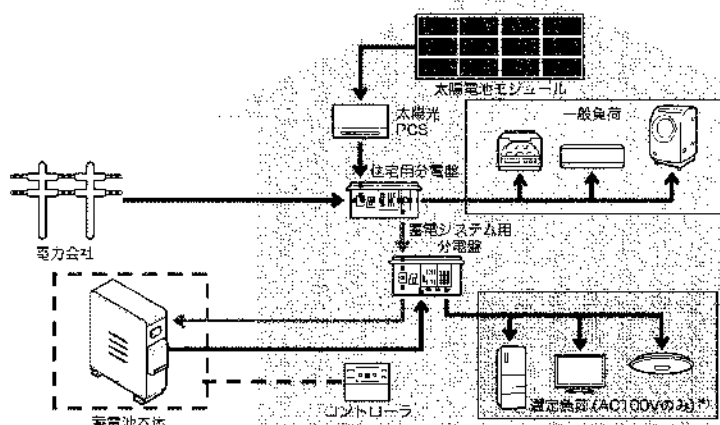
あなただけの使い方を
きめ細やかに

おこのみ
モード

2つの独立したタイマーを自由に設定することで、お好みの充電電時間で運転できます。また、充電電力なども自由に設定でき、ライフスタイルにあったきめ細やかな運転が可能です。

2 蓄電システムの構成例

太陽光発電システムが併設されている場合



注) 選定負荷：停電時にも使用したい機器を接続してください。
選定負荷合計で2kW未満にしてください。

蓄電システムの構成

蓄電池本体	通常運転時は、系統からの電気で充電し、放電は選定負荷と一般負荷の両方の機器に電気を供給します。 ^{※1} 停電時は、選定負荷に自動的に自立放電します（停電時、一般負荷には電気は供給しません）。太陽光発電システムが併設されている場合は、停電時、太陽光発電システムから充電することができます。 ^{※2}
蓄電システム用分電盤	選定負荷を接続するための蓄電システム用の分電盤です。
コントローラ	蓄電システムの各種運転操作と運転状態の表示および運転モードを設定するためのコントローラです。

※1：200V機器は一般負荷でのみ使えます。選定負荷では使えません。

※2：太陽光発電システムから充電する場合、太陽光発電システムを自立運転に切り換えると、蓄電システムに充電を開始します。

押し上げ効果について

太陽光発電システムが併設されている場合は、設置時に「押し上げ効果なし」または「押し上げ効果あり」のどちらかを選び、電力会社と契約する必要があります。^{※1}

	太陽光発電システムと蓄電システムの関係	この使い方をすすめるライフスタイル
押し上げ効果なし	太陽光発電の電力は家庭内で使用し、余剰分を売電します。 売電しているときは蓄電システムから放電できません。 押し上げ効果ありに比べ、売電単価は高くなっています。	昼間の電気使用量が少ないライフスタイル、売電価格を優先したい家庭におすすめです。
押し上げ効果あり ^{※2}	太陽光発電の電力を売電しているときも蓄電システムは放電します。 蓄電システムの電力を家庭内で使用し、その分の太陽光発電の電力を売電にまわして、売電量を増やすことができます。 押し上げ効果なしに比べ、売電単価は安くなっています。	昼間の電気使用量が多いライフスタイル、売電量を増やしたい家庭におすすめです。

※1：「押し上げ効果なし」でも「押し上げ効果あり」でも、蓄電池に貯めた電気は売電できません。

※2：余剰電力買取制度の場合です。



3 蓄電システムの運転モードについて

■ 運転モード

蓄電システムの運転モードは、「通常運転（連系運転）」と「停電自立運転」があります。

● 通常運転

通常、「おまかせ」運転か「おこのみ」運転のいずれか選択したモードで運転を行います。

また、ボタン操作で、「おまかせ」運転や「おこのみ」運転、「充電」運転、「放電」運転を行うことができます。

「おまかせ」運転および「おこのみ」運転の詳細内容は下の表に示します。

「充電」運転：充電を開始させたい時、ボタン操作で充電を行います。

「放電」運転：放電を開始させたい時、ボタン操作で放電を行います。

運転	モード	内容
おまかせ		ワンタッチのボタン操作で、設定したモードの運転ができます。
	経済おまかせ	電気料金が安い時に貯めて、電気代を減らす経済的な運転が可能です。 ^{※1} 太陽光発電システムの発電電力を蓄電システムには充電できません。放電時には、「押し上げ効果なし」および「押し上げ効果あり」とともに太陽光発電の余剰電力を充電しません。「押し上げ効果あり」は、より多く売電となるよう運転します。 (充放電時間はタイマーで自由に設定できます)
	環境おまかせ	自然エネルギーを活用して電力会社からの買電量や環境負荷（CO ₂ など）を減らします。 家庭内の使用電力を超える太陽光発電システムの発電電力（余剰電力）を蓄電システムに充電し、朝や夕に使用します。 ^{※2} (充放電時間はタイマーで自由に設定できます)
	ピーク抑制	朝と夕の家庭内の使用電力が多い時間帯に、ピーク電力を抑制するように放電運転します。 ^{※3} 契約電力を見直し、毎月支払う電気の基本料金を下げることが可能です。 ^{※4} (充電時間 00：00～05：00、放電時間 05：00～00：00)
おこのみ	停電準備	蓄電残量を高めに残して運転することで、災害警報・予報などの有事に備えて、急な停電でも長い時間安心して使用できます。 ^{※5} (充放電時間はタイマーで自由に設定できます)
		ワンタッチのボタン操作で運転ができます。 2つの独立したタイマーを自由に設定することで、おこのみの充放電時間で運転できます。 また、充電電力なども自由に設定でき、ライフスタイルに合ったきめ細やかな運転が可能です。

※1：電力会社との契約が必要です。また、家庭内の電気使用状況によっては電気代を減らせない場合があります。

※2：太陽光発電システムの発電電力が500W以上で売電になると蓄電システムに充電します。発電電力が不十分の時は充電しません。

また、タイマー設定の充電時間には、充電容量設定レベルまで系統からの電気で充電します。

※3：ピーク抑制時間は、朝：5：00～8：00、夕：17：00～20：00の範囲で設定できます。

朝、夕の時間帯以外は「経済おまかせモード」となります。

※4：電気使用状況によっては契約電力を見直せない場合があります。

※5：運転モードは「経済おまかせモード」となります。



蓄電システムについて

● 停電自立運転

停電発生時に自動で自立放電を開始します。

また、太陽光発電システムを自立運転に切り換えると、太陽光発電システムで発電した電気を蓄電池に充電することができます。

4 HEMS 連動について

蓄電システムは東芝ホームITシステム東芝HEMSと連携できます。

詳しくは、通信用アダプタコントローラ（ENG-C20A5、ENG-C50A5）の設定ガイドをお読みください。

5 付属品

● 取扱説明書（本書）…………… 1冊

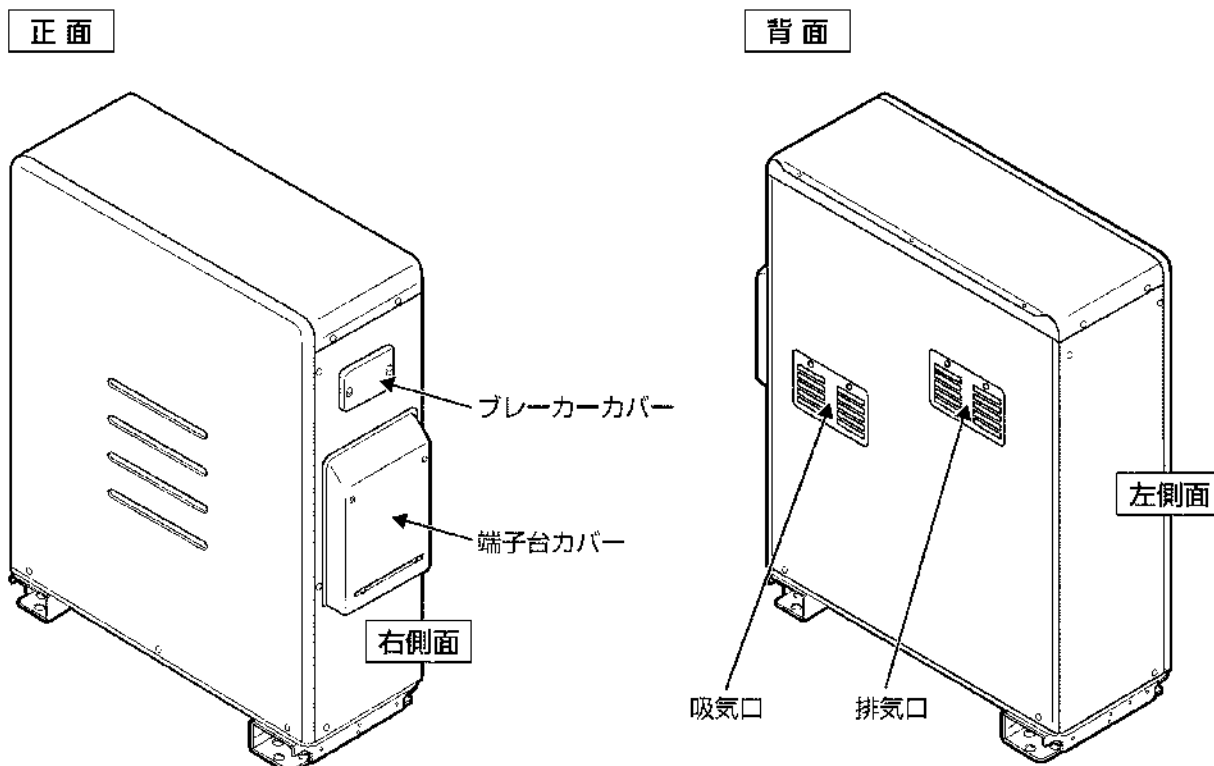
● 保証書 …………… 1冊

保証書は、この取扱説明書と同梱していますので、お買い上げに、販売店名などの記入をお確かめください。

各部の名称とはたらき

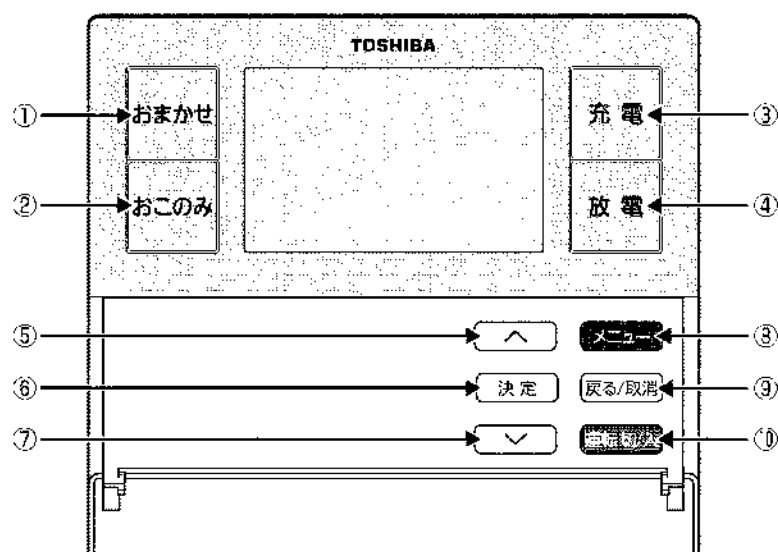
1 蓄電池本体

吸気口および排気口は背面にあります。内部の換気に必要な空気は吸気口から取り入れます。
本体開閉器（断路器）は右側面のブレーカーカバーの中にあります。





2 コントローラ



① [おまかせ] ボタン

「おまかせ」運転を行うとき、あるいは、おまかせ運転を停止するときに使用します。

② [おこのみ] ボタン

「おこのみ」運転を行うとき、あるいは、おこのみ運転を停止するときに使用します。

③ [充電] ボタン

「充電」運転を行うとき、あるいは、充電運転を停止するときに使用します。

④ [放電] ボタン

「放電」運転を行うとき、あるいは、放電運転を停止するときに使用します。

⑤、⑦ [選択] ボタン

設定内容を選択するときに使用します。

⑥ [決定] ボタン

各種設定の内容を決定したいときに使用します。

⑧ [メニュー] ボタン

各種の設定を行うときに使用します。

⑨ [戻る/取消] ボタン

設定中の操作を戻すときや、運転を取り消す（運転を停止する）ときに使用します。

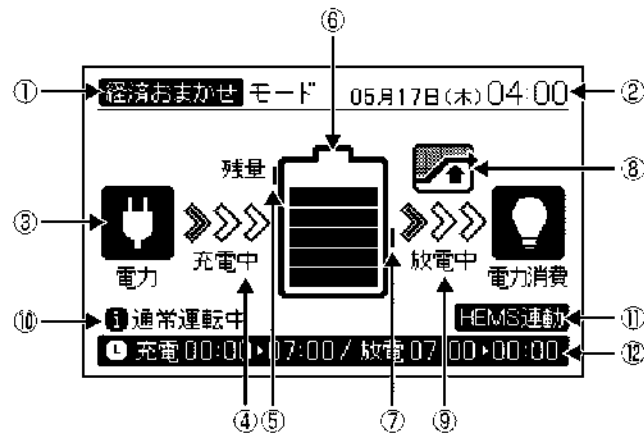
⑩ [運転 切/入] ボタン

運転を開始するときや、運転を終了するときに使用します。

3 表示について

1. 表示画面

■ 通常運転中の表示



- ① 運転モード表示
運転モードを表示します。
- ② 日付時刻表示
現在の日付、時刻を表示します。
- ③ 系統電力表示
系統から蓄電システムに電力供給を受けていることを表示します。
- ④ 充電中表示
充電中であることを表示します。
- ⑤ 充電容量設定表示
「おまかせ」運転あるいは「おこのみ」運転の充電時に貯める電池容量の設定値を表示します。
- ⑥ 電池残量表示
電池の放電残量を表示します。
- ⑦ 放電残量設定表示
「おまかせ」運転あるいは「おこのみ」運転の放電時に残しておきたい電池残量の設定値を表示します。
- ⑧ ピーク抑制表示
ピーク抑制中であることを表示します。
- ⑨ 放電中表示
放電中であることを表示します。
- ⑩ インフォメーション表示
運転モードや動作状態の注意事項などを表示します。
- ⑪ HEMS 連動表示
HEMS で運転が制御されていることを表示します。
- ⑫ 充電時間／放電時間表示
充電／放電の開始・停止時刻を表示します。

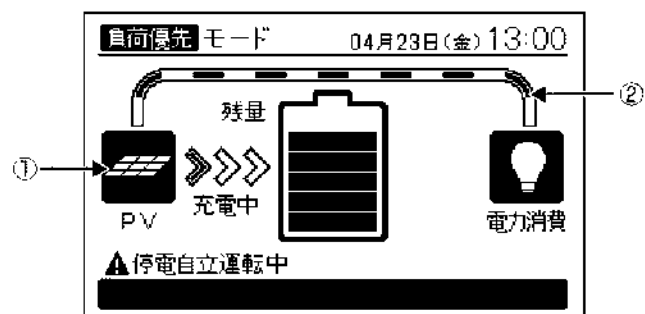


停電時の表示

停電が発生すると、停電の検出から約3秒後に、「停電自動放電モード」画面を表示します。



太陽光発電システムから電力供給を受けている場合



① PV接続表示

太陽光発電システムから蓄電システムに電力供給を受けていることを表示します。

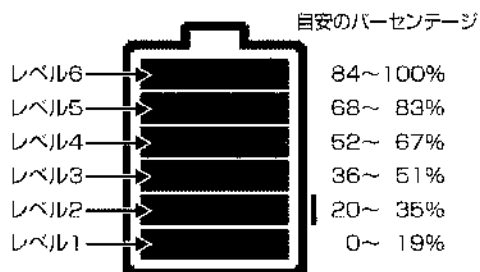
② PV放電表示

太陽光発電システムから電気機器に電力供給を受けていることを表示します。

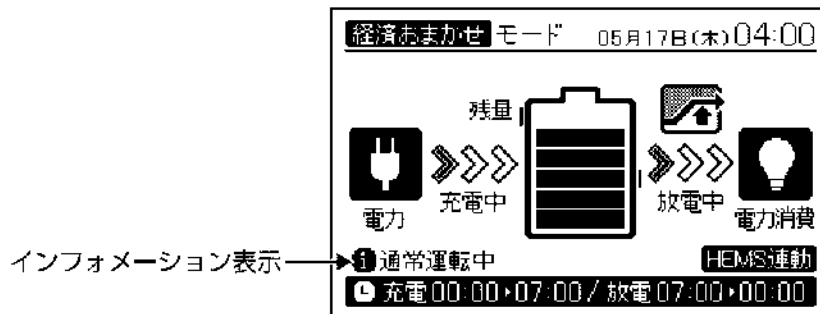
2. 電池残量表示

蓄電池の残量を示しています。

電池満充電状態を100%として電池残量のパーセンテージを基に表示しています。



3. インフォメーション表示



運転モードや動作状態の注意事項などを表示しています。

インフォメーション表示が出ていないときは、充電や放電などの運転が停止している状態です。

① 通常運転中

系統の停電や異常報知のない通常運転中であることを表示しています。

▲ 運転停止中

運転停止中であることを表示しています。運転を再開する場合は、「おまかせ」、「おこのみ」、「充電」、「放電」のいずれかのボタンを押してください。

タイマー1

タイマー1で設定した時刻に従った充電・放電運転中であることを表示しています。

タイマー2

タイマー2で設定した時刻に従った充電・放電運転中であることを表示しています。

▲ タイマー1・2が重複

タイマー1・タイマー2の充電・放電設定時刻が重なっています。

タイマー1とタイマー2それぞれの設定時刻を確認し、充電・放電時刻が重ならないように設定時刻を変更してください。

▲ 設定容量まで充電しました

設定した電池容量まで充電した場合に表示されます。

▲ 電池が満充電です

電池が満充電した場合に表示されます。

① 太陽光発電

太陽光発電システムが併設されていて、抑上げ効果なしの場合に、太陽光発電による電力を電力会社へ売電しているときに表示されます。

▲ 放電できません（使用電力少）

放電運転時、系統から一定電力以上負荷を使用していないと放電できません。^{※1}

※1：系統から、一定電力（片相ずつ約20W）以上負荷を使用していない状態が続いている間、この表示が続きます。一定電力以上負荷を使用状態になると、表示が「▲放電待機中」に変わります。

▲ 放電待機中

下記で、表示します。

- ・ 系統から一定電力以上負荷を使用していない状態（「▲放電できません（使用電力少）」状態）から、一定電力以上負荷を使用すると、この表示に変わり、一定電力以上負荷を使用する状態が約60秒間継続すると放電が始まります。待機時間 [単位：秒] も表示します。^{※2}
- ・ 放電開始直後、L1相、L2相の負荷使用量の差により発生する場合があります。
- ・ 太陽光発電システムが併設されており抑上げ効果ありの場合において、太陽光発電システムの発電電力が設定した「抑上げ開始」モードの電力値より小さいときに表示されます（大きくなると放電します）。この場合は、待機時間は表示されません。

※2：待機時間は、始め「60秒」が表示され、待機時間は1秒ずつ短くなり「0秒」になると放電が始まります。

「0秒」になるまでに、一定電力より負荷の使用が少なくなると、「▲放電できません（使用電力少）」になります。



各部の名称とはたらき

▲設定残量まで放電しました

放電残量設定または抑制前残量設定で設定した電池残量まで放電した場合に表示されます。

▲電池を使い切りました

電池残量がありません。充電が可能な場合は速やかに充電してください。

▲自立運転待機中

停電発生から停電自立運転に切り換わるまでの間、表示されます（約3秒間）。

▲停電自立運転中

系統が停電して停電自立運転中であることを表示しています。

▲復電待機中

停電から復帰するとき（約300秒間）。待機時間〔単位：秒〕も表示されます。

▲起動待機中

太陽光発電システムが併設されていない場合あるいは太陽光発電システムが併設されており押し上げ効果ありの場合に、逆流したときに表示します（約60秒間）。待機時間〔単位：秒〕も表示します。^{*3}

※3：このインフォメーション表示が表示されたままになっている場合や待機時間が「0秒」にならない場合は、一度運転を終了してから、再び運転してください。再び運転を開始しても、このインフォメーション表示が表示されたままになっている場合や待機時間が「0秒」にならない場合は、販売店または工事店にご相談ください。

▲電池チェック中 充放電できません

電池チェックモードで、待機中のとき。

▲電池チェック中 充電できません

電池チェックモードで、07：00～00：00の時間帯のとき。

▲電池チェック中 放電できません

電池チェックモードで、00：00～07：00の時間帯のとき。

▲エラー：

エラーが発生したことを示します。

「エラーコード表示と確認・処置」（59ページ）に従って、処置をしてください。

▲HEMS制御が取り消されました

HEMS制御が取り消されたとき。

▲放電停止しました 充電して下さい

「太陽光充電待機」を選択している状態での自立運転時に太陽光充電待機容量まで放電した場合に表示します。速やかに充電してください。

▲間もなくシステムが停止します

「太陽光充電待機」を選択している状態で、停電中に電池残量が少なくなると表示します。

▲サーバとの通信ができません

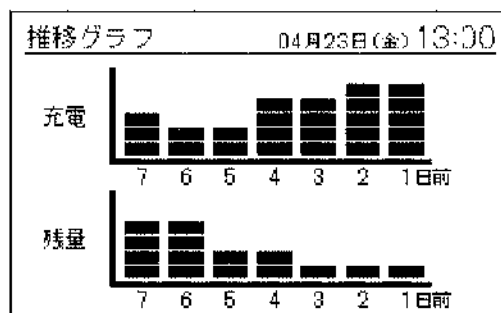
サーバと通信できないときに表示します。（該当機種のみ）

●本体ソフトウェア更新中

本体のソフトウェアを更新中に表示します。

4. 推移グラフ表示

過去7日分の1日の充電量と残量の推移を表示します。





4 受付ブザー音について

コントローラのボタンを押すと、受付ブザー音が鳴ります。

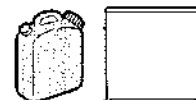
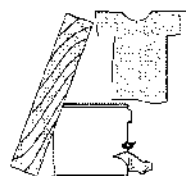
■ ブザー音の種類

各設定の設定内容が確定したとき （[決定] ボタンを押したとき）	「ピーッ」音
上記以外でボタンを押したとき	「ビッ」音

ご使用前の準備と確認

1 機器および周辺の確認

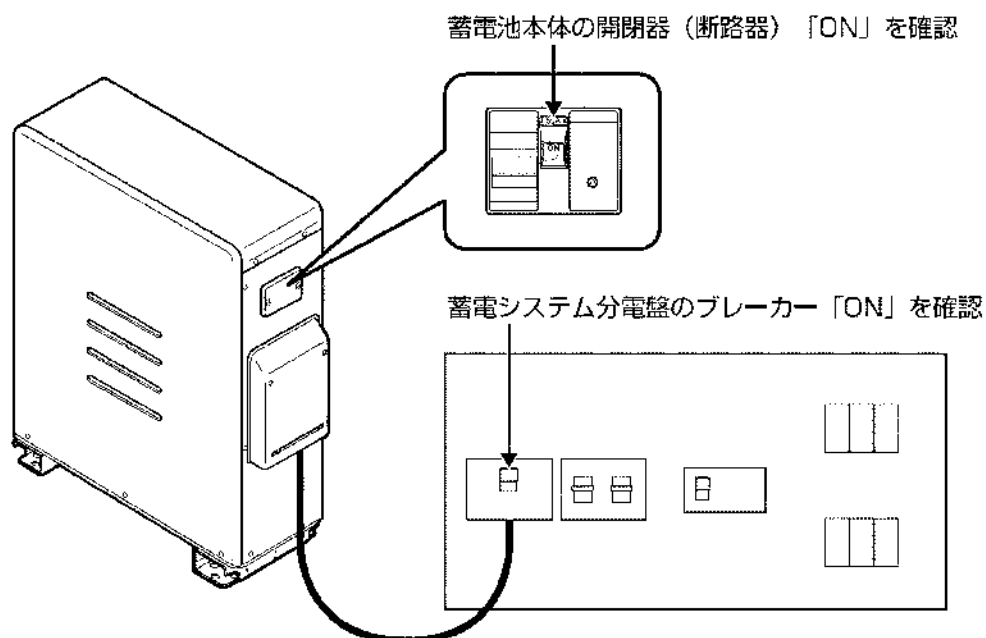
吸気口や排気口がふさがれていないことを確認してください。
機器の近くにガソリン・ベンジンなどの引火性のものや燃えやすいものを置かないでください。



2 分電盤の確認

次のことを確認してください。

- 住宅用分電盤の主幹漏電ブレーカーが「入 (ON)」であることを確認してください。
- 蓄電システム分電盤のブレーカーが「入 (ON)」であることを確認してください。また、蓄電池本体の開閉器 (断路器) が「入 (ON)」であることを確認してください。



設定について

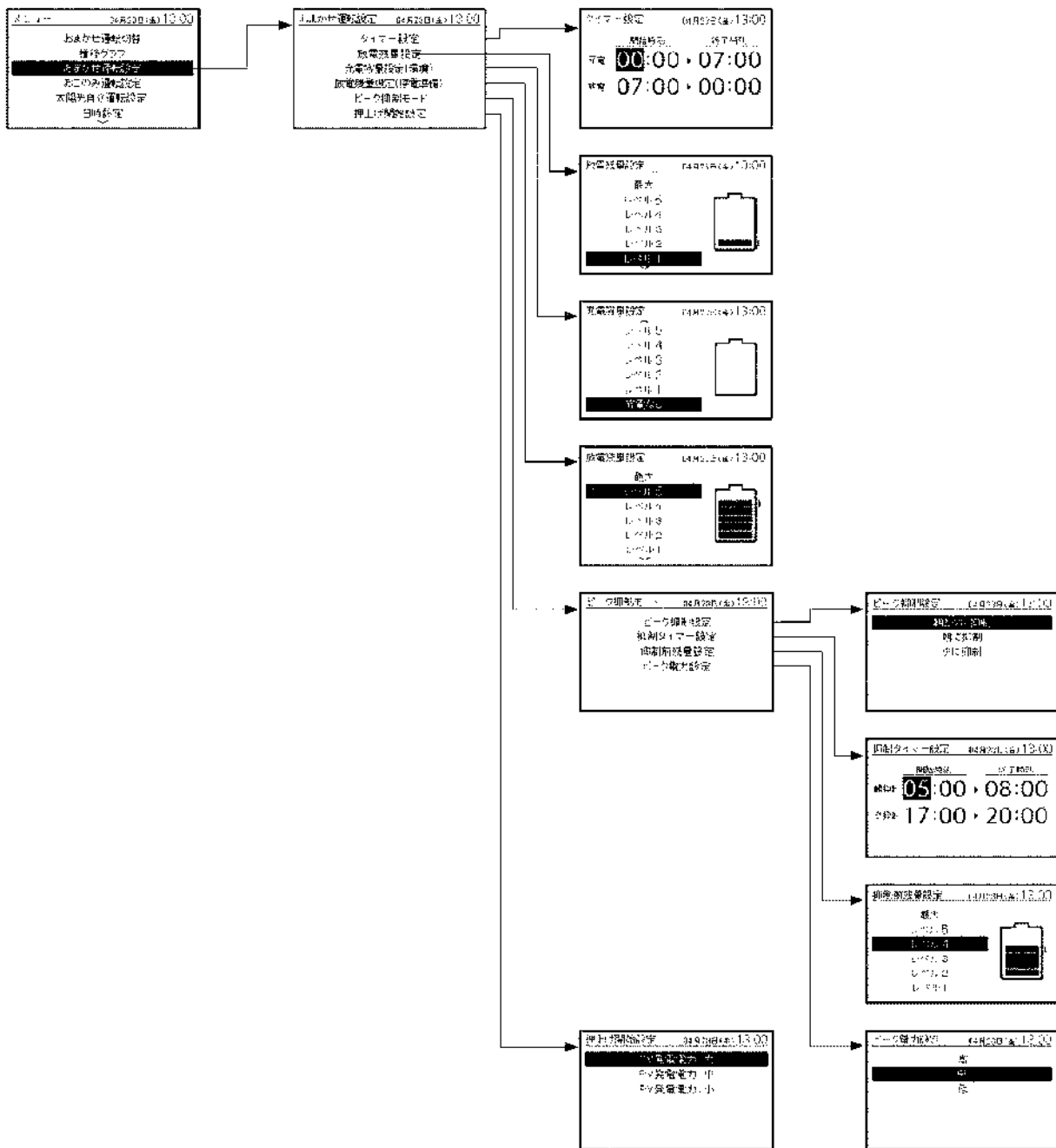
各種設定はコントローラのボタン操作で行います。各種運転および各種モードの設定項目は、以下の通りです。設定内容の詳細は、20ページ以降で説明します。

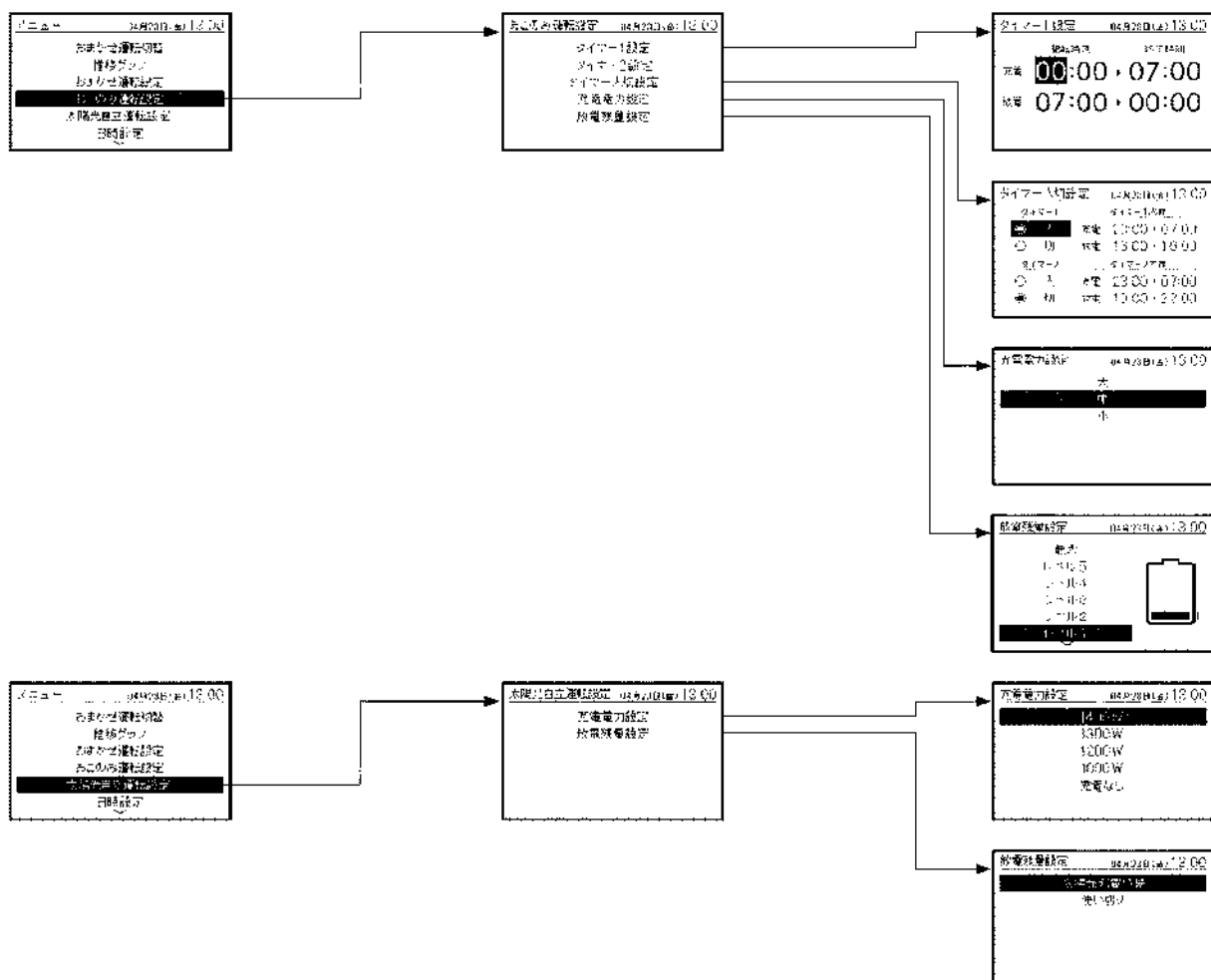
設定以外については、それぞれ次の項目で説明します。

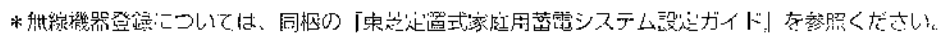
「おまかせ運転切替」：通常運転について 42ページ

「推移グラフ」 : 推移グラフを見る 48ページ

「通信確認（対象機器のみ）」：このようなときには 57 ページ







1 各種設定の内容について

コントローラのボタン操作で設定できる内容は、以下の通りです。

メニュー	設定項目と内容		設定範囲	初期値	参照先
おまかせ運転設定	「おまかせ」運転のモードを設定します。ライフスタイルに合わせて選択してください。				22ページ
	タイマー設定	充電時間／放電時間を設定します。電力会社との契約時間帯も合わせて設定してください。	充電時間 放電時間	00:00-07:00 07:00-00:00	22ページ
	放電残量設定 ※1	放電時に残しておきたい電池残量を設定します。急な停電に備えて残しておく蓄電容量を設定してください。 レベル0の場合は、停電に備えた残量は残りませんので、自立運転時に放電できない場合があります。 なお、太陽光自立運転設定で、太陽光充電待機を選択した場合は、放電残量設定をレベル0で設定しても太陽光充電待機が有効となります。	レベル0～最大	レベル1	24ページ
	充電容量設定 (環境)※2 (環境おまかせモードのみ有効。それ以外のモードは、満充電する)	充電時間(系統からの電力を充電する時間)に貯める電池容量を設定します。 充電時間帯以外に、昼間の太陽光発電システムからの余剰電力で充電しますが、季節や天候などによって余剰電力量は変動しますので、それを考慮して設定してください。	充電なし～最大	最大	25ページ
	放電残量設定 (停電準備)	停電自立運転動作の放電時に残しておきたい電池残量を設定します。急な停電に備えて残しておく蓄電容量を高め設定してください。	レベル0～最大	レベル5	26ページ
	ピーク抑制モード	ピーク抑制設定	ピーク電力を抑制する時間帯を設定します。朝と夕の時間帯に、ピーク電力を抑制するように放電運転します。	朝と夕に抑制 朝に抑制 夕に抑制	朝と夕に抑制 27ページ
		抑制タイマー設定	朝抑制時間／夕抑制時間を設定します。	朝抑制 夕抑制	05:00-08:00 17:00-20:00 28ページ
		抑制前残量設定	夕から使いたい電池残量を設定します。夕からの利用状況に合わせて設定してください。 「抑制前残量設定」は「放電残量設定」よりレベルを高く設定してください。	レベル1～最大	レベル4 29ページ
		ピーク電力設定	朝、夕のピーク時間帯に契約電力を超過しないように維持する電力値を設定します。(契約電力に対して抑制する電力を設定します。 例:「高」を設定した場合、買電電力が契約電力より1kW少なくなるように放電電力をコントロールします)。	高:1000W 中:2000W 低:3000W	中 30ページ



おまかせ運転設定	押し上げ開始設定（太陽光発電システムが併設され、押し上げる効果がある場合のみ有効）	蓄電システムから放電を開始する太陽光発電システムの発電量を設定します。（設定された発電電力を超過した場合に蓄電システムは放電を開始します）太陽光発電システムの発電容量や日射量に合わせて設定してください。	PV発電電力大：2000W PV発電電力中：1000W PV発電電力小：500W	大	32ページ
おこのみ運転設定	「おこのみ」運転のモードを設定します。ライフスタイルに合わせて選択ください。 ダブルタイマー運転や充電電力などの各種設定が自由にできます。				33ページ
	タイマー1設定	タイマー1の充電時間/放電時間を設定します。	充電時間 放電時間	00:00-07:00 07:00-00:00	33ページ
	タイマー2設定	タイマー2の充電時間/放電時間を設定します。	充電時間 放電時間	00:00-00:00 00:00-00:00	33ページ
	タイマー入切設定	タイマー1、タイマー2の入/切を設定します。	入/切	1:入 2:切	35ページ
	充電電力設定	充電する電力を設定します。 「大」に設定すると早く充電できますが、契約電力を超えないようご注意ください。	大：3000W 中：2000W 小：1000W	中	36ページ
太陽光自立運転設定	放電残量設定※1	放電時に残しておきたい電池残量を設定します。 急な停電に備えて残しておく蓄電容量を設定してください。	レベル0～最大	レベル1	37ページ
	充電電力設定	自立運転時の最大充電電力を設定します。 太陽光発電システムの自立運転出力よりいくらか少ない電力に設定してください。	1400W 1300W 1200W 1000W 充電なし	1400W	38ページ
	放電残量設定	放電残量の使い方を設定します。 「太陽光充電待機」は、翌日の太陽光発電からの充電に備えて、蓄電池充電用の動作電力を残します。 「使い切り」は、残量を残さず、使い切ります。	太陽光充電待機 使い切り	太陽光充電待機	39ページ
日時設定	コントローラの日時を設定します。		—	2017年1月 1日 00:00	40ページ

※1：手動運転による「放電」運転もこの放電残量設定までの放電となります。

※2：手動運転による充電運転は、本設定にかかわらず「最大」となります。



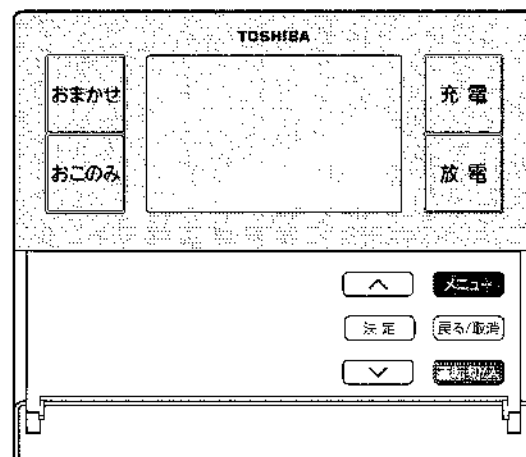
2 おまかせ運転設定

ボタン操作で、「タイマー設定」、「放電残量設定」、「充電容量設定（環境）」、「放電残量設定（停電準備）」、「ピーク抑制モード」設定、「押上げ開始設定」を行います。

●コントローラのふたをひらく

ふたの下のボタンで設定します。

ふたをひらいた状態

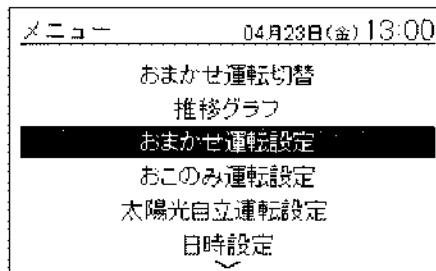


1. タイマー設定

タイマーを設定します。

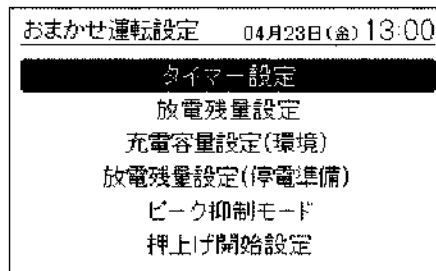
- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転設定」を選択する※1

※1：液晶画面のバックライト（明かり）が消えているときにボタン操作すると、1回目のボタン操作はバックライト点灯の操作となります。2回目のボタン操作から、設定のための操作となります。（以降、すべてのボタン操作で同じです）



- 2 [決定] ボタン **決定** を押す

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「タイマー設定」を選択する



- 4 [決定] ボタン **決定** を押す



5 【選択】 ボタン を押して、タイマー時刻を選択する

4と5を繰り返し、充電の開始時刻と終了時刻を設定します。

充電時間と放電時間の重複設定はできません。

タイマー設定		04月23日(金) 13:00	
	開始時刻	終了時刻	
充電	00:00	07:00	
放電	07:00	00:00	

6 【決定】 ボタン を押す

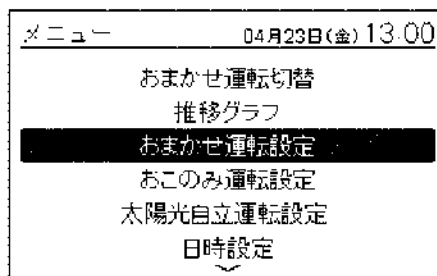
5と6を繰り返し、放電の開始時刻と終了時刻を設定します。

時刻設定の際に【戻る/取消】ボタン を押すと、1つ前の項目に戻ります。放電終了時刻の「分」を設定後、【決定】ボタン を押した後は、前の設定に戻れません。再設定したい場合は、この設定をやり直してください。



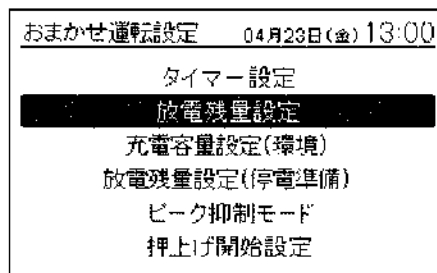
2. 放電残量設定

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転設定」を選択する



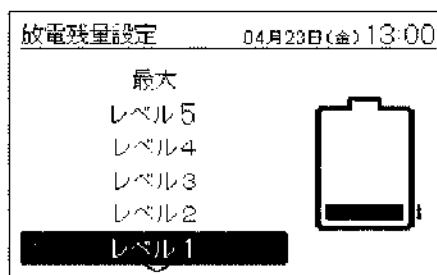
- 2 [決定] ボタン **決定** を押す

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「放電残量設定」を選択する



- 4 [決定] ボタン **決定** を押す

- 5 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、電池の放電残量を選択する
設定値までの目盛りがすべて黒色になります。



- 6 [決定] ボタン **決定** を押す
「メニュー」画面に戻ります。

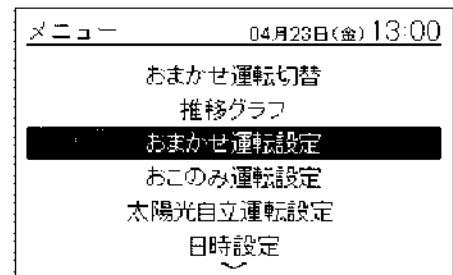


3. 充電容量設定（環境）

太陽光発電システムが併設されていない場合は、設定できません。

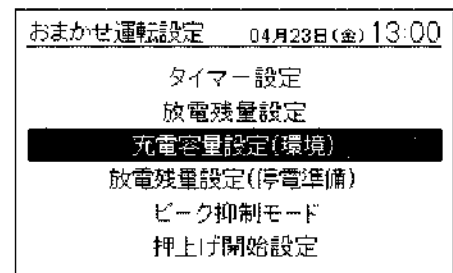
- 1 【メニュー】 ボタン **メニュー** を押し、【選択】 ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転設定」を選択する※1

※1：液晶画面のバックライト（明かり）が消えているときにボタン操作すると、1回目のボタン操作はバックライト点灯の操作となります。2回目のボタン操作からが、設定のための操作となります。（以降、すべてのボタン操作で同じです）



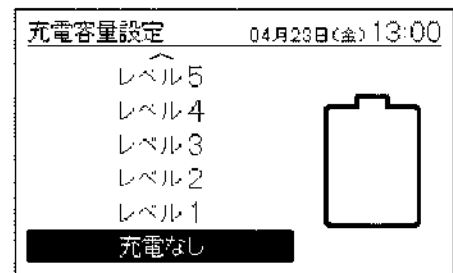
- 2 【決定】 ボタン **決定** を押す

- 3 【選択】 ボタン **↑** **↓** を押して「充電容量設定（環境）」を選択する



- 4 【決定】 ボタン **決定** を押す

- 5 【選択】 ボタン **↑** **↓** を押して、電池の充電容量を選択する
設定値までの目盛りがすべて黒色になります。



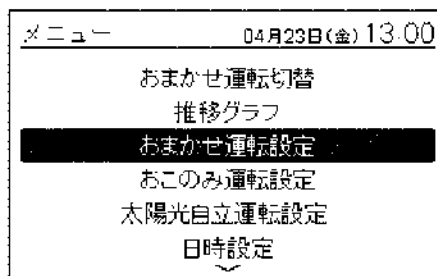
- 6 【決定】 ボタン **決定** を押す

「メニュー」画面に戻ります。運転画面に戻るには【戻る/取消】ボタン **戻る/取消** を押します。（以降、すべての設定で同じです）



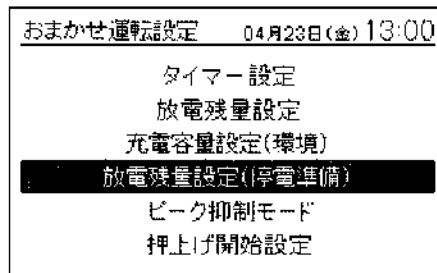
4. 放電残量設定（停電準備）

- 1** [メニュー] ボタン  を押し、[選択] ボタン   を押して「おまかせ運転設定」を選択する



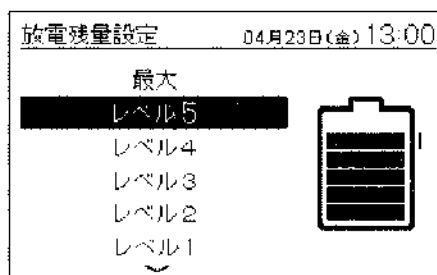
- 2** [決定] ボタン  を押す

- 3** [選択] ボタン   を押して「放電残量設定（停電準備）」を選択する



- 4** [決定] ボタン  を押す

- 5** [選択] ボタン   を押して、電池の放電残量を選択する
設定値までの目盛りがすべて黒色になります。



- 6** [決定] ボタン  を押す
「メニュー」画面に戻ります。



5. ピーク抑制モード設定

● ピーク抑制設定

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転設定」を選択する

メニュー	04月23日(金) 13:00
おまかせ運転切替	
推移グラフ	
おまかせ運転設定	
おこのみ運転設定	
太陽光自立運転設定	
日時設定	

- 2 [決定] ボタン **決定** を押す

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「ピーク抑制モード」を選択する

おまかせ運転設定	04月23日(金) 13:00
タイマー設定	
放電残量設定	
充電容量設定(環境)	
放電残量設定(停電準備)	
ピーク抑制モード	
押上げ開始設定	

- 4 [決定] ボタン **決定** を押す
「ピーク抑制モード」画面になります。

- 5 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「ピーク抑制設定」を選択する

ピーク抑制モード	04月23日(金) 13:00
ピーク抑制設定	
抑制タイマー設定	
抑制前残量設定	
ピーク電力設定	

- 6 [決定] ボタン **決定** を押す

- 7 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して次のいずれかを選択する

朝と夕に抑制
朝に抑制
夕に抑制

ピーク抑制時間は「抑制タイマー設定」で設定します。

ピーク抑制設定	04月23日(金) 13:00
朝と夕に抑制	
朝に抑制	
夕に抑制	

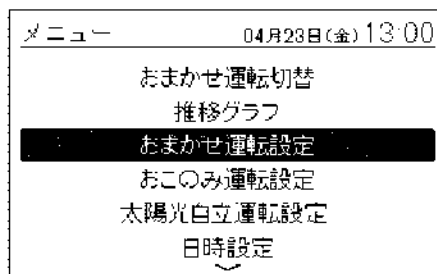


8 [決定] ボタン を押す

メニュー画面に戻ります。

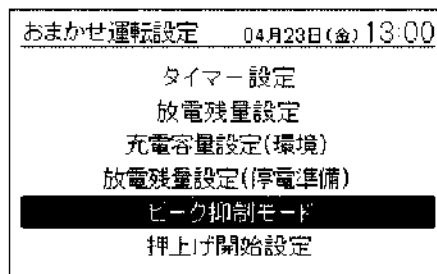
■ 抑制タイマー設定

1 [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「おまかせ運転設定」を選択する



2 [決定] ボタン を押す

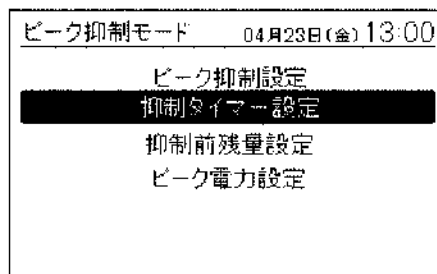
3 [選択] ボタン を押して「ピーク抑制モード」を選択する



4 [決定] ボタン を押す

「ピーク抑制モード」画面になります。

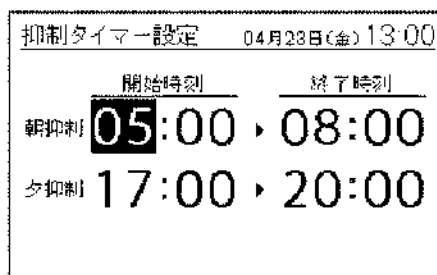
5 [選択] ボタン を押して「抑制タイマー設定」を選択する



6 [決定] ボタン を押す

7 [選択] ボタン を押して、タイマー時刻を選択する

6と7を繰り返し、朝抑制開始時刻と終了時刻を設定します。設定できる時刻は、05:00~08:00の範囲内です。





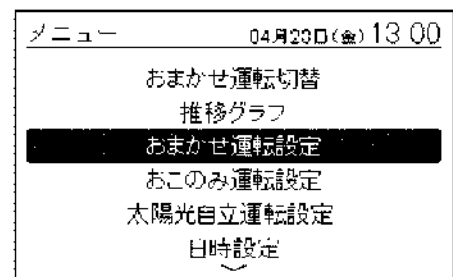
8 [決定] ボタン を押す

7と8を繰り返し、夕抑制開始時刻と終了時刻を設定します。設定できる時刻は、17:00~20:00の範囲内です。時刻設定の際に[戻る/取消] ボタン を押すと、1つ前の項目に戻ります。夕抑制終了時刻の「分」を設定後、[決定] ボタン を押すと「メニュー」画面に戻ります。「分」を設定し[決定] ボタン を押した後は、前の設定に戻れません。再設定したい場合は、この設定をやり直してください。

■ 抑制前残量設定

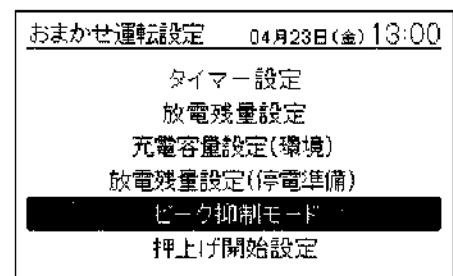
「抑制前残量設定」で、夕から使いたい電池残量を設定します。

1 [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「おまかせ運転設定」を選択する



2 [決定] ボタン を押す

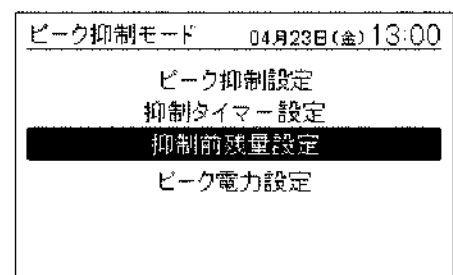
3 [選択] ボタン を押して「ピーク抑制モード」を選択する



4 [決定] ボタン を押す

「ピーク抑制モード」画面になります。

5 [選択] ボタン を押して「抑制前残量設定」を選択する

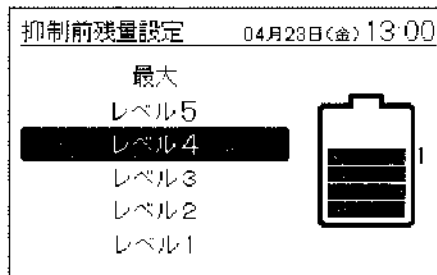


6 [決定] ボタン を押す



7 【選択】ボタン を押して、電池の抑制前残量を選択する

設定値までの目盛りがすべて黒色になります。



8 【決定】ボタン を押す

「メニュー」画面に戻ります。

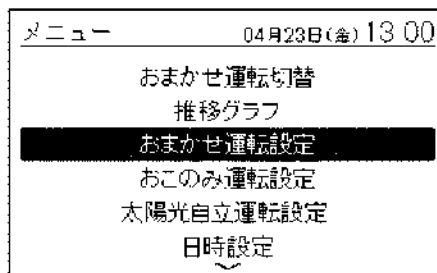


- 充電容量設定より大きな残量の設定はできません。
- 「ピーク抑制モード」運転の「朝と夕に抑制」および「夕に抑制」を選択した場合に有効です。(27ページ)
- 「朝に抑制」を選択した場合は、この設定は無効です。
- 「抑制前残量設定」の設定値は、運転画面に表示されません。

■ ピーク電力設定

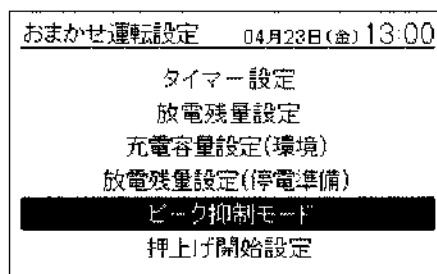
朝や夕のピーク時間帯に契約電力を超過しないように、契約電力に対する使用可能な電力を設定します。

1 【メニュー】ボタン を押し、【選択】ボタン を押して「おまかせ運転設定」を選択する



2 【決定】ボタン を押す

3 【選択】ボタン を押して「ピーク抑制モード」を選択する



4 【決定】ボタン を押す

「ピーク抑制モード」画面になります。



- 5 [選択] ボタン を押して「ピーク電力設定」を選択する

ピーク抑制モード	04月23日(金) 13:00
ピーク抑制設定 抑制タイマー設定 抑制前残量設定 ピーク電力設定	

- 6 [決定] ボタン を押す

- 7 [選択] ボタン を押して、次のピーク電力のいずれかを選択する

高：契約電力－1000W
 中：契約電力－2000W
 低：契約電力－3000W（定格電力）

例）契約電力が6000W（60A）で「中」設定の場合、買電電力が4000W（40A）になるように放電電力をコントロールします。

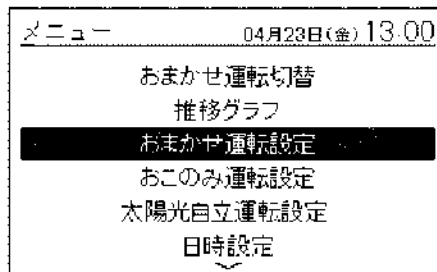
ピーク電力設定	04月23日(金) 13:00
高 中 低	

- 8 [決定] ボタン を押す
 「メニュー」画面に戻ります。

6. 押し上げ開始設定

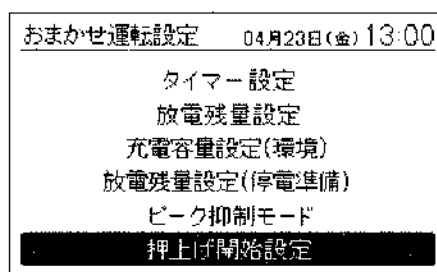
この設定は、太陽光発電システムが併設されていて押し上げ効果がある場合のみ、設定できます。
太陽光発電システムが併設されていない場合や太陽光発電システムが併設されていて押し上げ効果がない場合は、設定できません。

- 1** [メニュー] ボタン  を押し、[選択] ボタン   を押して「おまかせ運転設定」を選択する



- 2** [決定] ボタン  を押す

- 3** [選択] ボタン   を押して「押し上げ開始設定」を選択する



- 4** [決定] ボタン  を押す

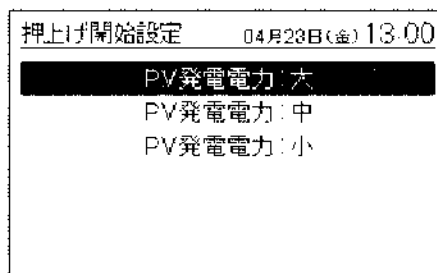
- 5** [選択] ボタン   を押して、次のPV発電電力のいずれかを選択する^{*1}

PV発電電力：大・・・2000W

PV発電電力：中・・・1000W

PV発電電力：小・・・500W

※1：PV発電電力とは、太陽光発電システムの発電電力のことです。



- 6** [決定] ボタン  を押す
「メニュー」画面に戻ります。

■ 設定を終わるには

- 1** [戻る/取消] ボタン  を押す
運転画面に戻ります。

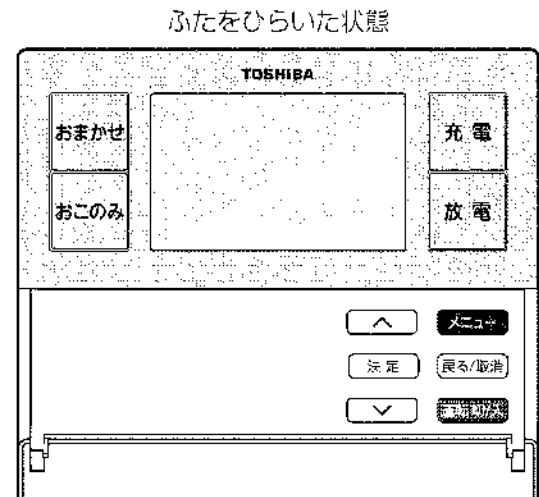
- 2** コントローラのふたを閉じる

3 おこのみ運転設定

ボタン操作で、「タイマー1設定」、「タイマー2設定」、「タイマー入切設定」、「充電電力設定」、「放電残量設定」を行います。

●コントローラのふたをひらく

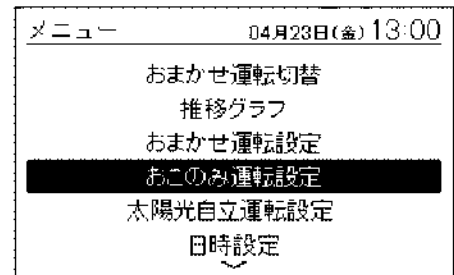
ふたの下ボタンで設定します。



1. タイマー1設定、タイマー2設定

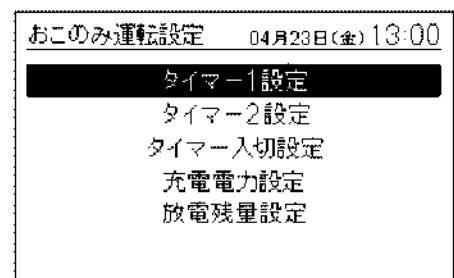
タイマーの設定は、2つタイマー（「タイマー1」と「タイマー2」）の設定ができます。

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おこのみ運転設定」を選択する



- 2 [決定] ボタン **決定** を押す
「おこのみモード」画面になります。

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、「タイマー1設定」または「タイマー2設定」を選択する



- 4 [決定] ボタン **決定** を押す

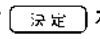
5 〔選択〕 ボタン を押して、タイマー時刻を設定する

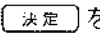
4と5を繰り返し、充電の開始時刻と終了時刻を設定します。充電時間と放電時間の重複設定はできません。

タイマー1設定		04月28日(金) 13:00	
	開始時刻	終了時刻	
充電	00:00	07:00	
放電	07:00	00:00	

6 〔決定〕 ボタン を押す

5と6を繰り返し、放電の開始時刻と終了時刻を設定します。

放電終了時刻の「分」を設定後、「決定」ボタン  を押すと「メニュー」画面に戻ります。

「分」を設定し〔決定〕ボタン  を押した後は、前の設定に戻れません。再設定したい場合は、この設定をやり直してください。

運転画面に戻るには「戻る/取消」ボタン  を押します。(以降、すべての設定で同じです)



- 同一のタイマー（「タイマー1」または「タイマー2」）の中で充電時間と放電時間の重複設定はできません。
- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定した場合、その充電・放電運転は行われません。
- 時刻設定の際に「戻る/取消」ボタン  を押すと、1つ前の項目に戻ります。



2. タイマー入切設定

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おこのみ運転設定」を選択する

メニュー	04月23日(金) 13:00
おまかせ運転切替	
推移グラフ	
おまかせ運転設定	
おこのみ運転設定	
太陽光自立運転設定	
日時設定	

- 2 [決定] ボタン **決定** を押す
「おこのみモード」画面になります。

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「タイマー入切設定」を選択する

おこのみ運転設定	04月23日(金) 13:00
タイマー1設定	
タイマー2設定	
タイマー入切設定	
充電電力設定	
放電残量設定	

- 4 [決定] ボタン **決定** を押す

- 5 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、「タイマー1」の「入」を選択する

タイマー入切設定	04月23日(金) 13:00
タイマー1	タイマー1内容
● 入	充電 23:00・07:00
○ 切	放電 13:00・16:00
タイマー2	タイマー2内容
○ 入	充電 23:00・07:00
● 切	放電 10:00・22:00

- 6 [決定] ボタン **決定** を押す

- 7 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、「タイマー2」の「切」を選択する

- 8 [決定] ボタン **決定** を押す
「メニュー」画面に戻ります。



・「タイマー1」および「タイマー2」両方とも「切」の状態で、[決定] ボタン **決定** を押しても、「メニュー」画面に戻りません。どちらかを「入」にして [決定] ボタン **決定** を押しください。「メニュー」画面に戻ります。

3. 充電電力設定

- 1 [メニュー] ボタン  を押し、[選択] ボタン   を押して「おこのみ運転設定」を選択する

メニュー 04月23日(金)13:00

おまかせ運転切替
推移グラフ
おまかせ運転設定
おこのみ運転設定
太陽光自立運転設定
日時設定

- 2 [決定] ボタン  を押す
「おこのみモード」画面になります。

- 3 [選択] ボタン   を押して「充電電力設定」を選択する

おこのみ運転設定 04月23日(金)13:00

タイマー1設定
タイマー2設定
タイマー入切設定
充電電力設定
放電残量設定

- 4 [決定] ボタン  を押す

- 5 [選択] ボタン   を押して、次の充電電力のいずれかを選択する
- 大：3000W
中：2000W
小：1000W

充電電力設定 04月23日(金)13:00

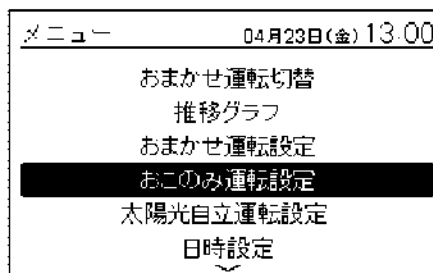
大
中
小

- 6 [決定] ボタン  を押す
「メニュー」画面に戻ります。



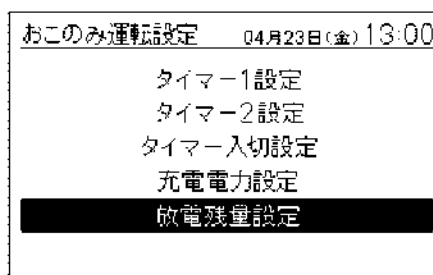
4. 放電残量設定

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おこのみ運転設定」を選択する



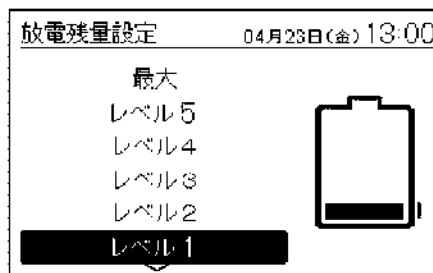
- 2 [決定] ボタン **決定** を押す
「おこのみモード」画面になります。

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「放電残量設定」を選択する



- 4 [決定] ボタン **決定** を押す

- 5 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、電池の放電残量を選択する
設定値までの目盛りがすべて黒色になります。



- 6 [決定] ボタン **決定** を押す
「メニュー」画面に戻ります。

■ 設定を終わるには

- 1 [戻る/取消] ボタン **戻る/取消** を押す
運転画面に戻ります。

- 2 コントローラのふたを閉じる

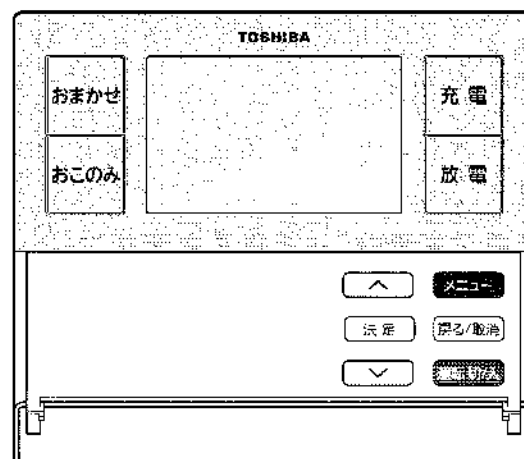
4 太陽光自立運転設定

ボタン操作で、「太陽光自立運転設定」を行います。

●コントローラのふたをひらく

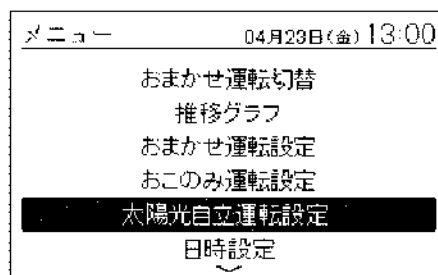
ふたの下のボタンで設定します。

ふたをひらいた状態



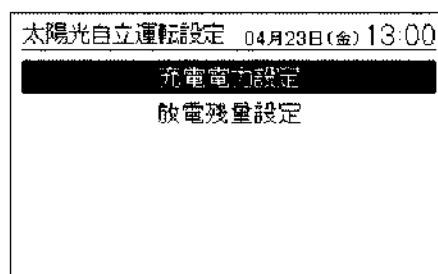
1. 充電電力設定

- 1 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「太陽光自立運転設定」を選択する



- 2 [決定] ボタン **決定** を押す

- 3 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して、「充電電力設定」を選択する



- 4 [決定] ボタン **決定** を押す



- 5** [選択] ボタン を押して、太陽光自立運転時に太陽光発電システムから蓄電池が充電できる最大電力を選択する

太陽光発電システムから供給される電力は、天候の変化で使用可能な電力が変動してしまうため、できるだけ小さな値とした方が太陽光発電システムの電力を安定して使用することができます。

充電電力設定	04月23日(金) 13:00
1400W	
1300W	
1200W	
1000W	
充電なし	

- 6** [決定] ボタン を押す
「メニュー」画面に戻ります。

2. 放電残量設定

- 1** [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「太陽光自立運転設定」を選択する

メニュー	04月23日(金) 13:00
おまかせ運転切替	
推移グラフ	
おまかせ運転設定	
おこのみ運転設定	
太陽光自立運転設定	
日時設定	

- 2** [決定] ボタン を押す

- 3** [選択] ボタン を押して、「放電残量設定」を選択する

太陽光自立運転設定	04月23日(金) 13:00
充電電力設定	
放電残量設定	

- 4** [決定] ボタン を押す

- 5** [選択] ボタン を押して、放電残量の使い方を下記から選択する

「太陽光充電待機」：翌日の太陽光発電からの充電に備えて、蓄電池充電用の動作電力を残す
「使い切り」：残量を残さず、使い切る

放電残量設定	04月23日(金) 13:00
太陽光充電待機	
使い切り	

- 6** [決定] ボタン を押す
「メニュー」画面に戻ります。

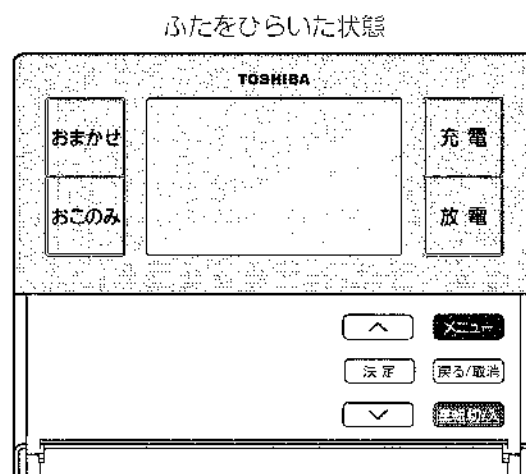
■ 設定を終わるには

- 1 [戻る/取消] ボタン  を押す
運転画面に戻ります。
- 2 コントローラのふたを閉じる

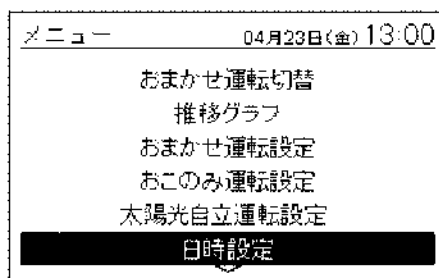
5 日付・時刻の設定

日付と現在時刻の設定を変えるときはコントローラで行います。

- 1 コントローラのふたをひらく
ふたの下のボタンで設定します。

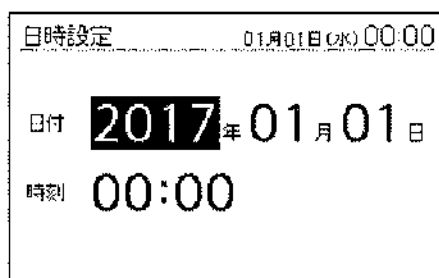


- 2 [メニュー] ボタン  を押し、[選択] ボタン   を押して「日時設定」を選択する



- 3 [決定] ボタン  を押す

- 4 [選択] ボタン   を押して西暦を設定し、[決定] ボタン  を押す





5 4と同様の操作を行い、日付と現在時刻を設定する

前の設定に戻りたいときは、[戻る/取消] ボタン  を押します。

時刻の「分」を設定後、[決定] ボタン  を押すと「メニュー」画面に戻ります。

6 [戻る/取消] ボタン を押す

運転画面に戻ります。

7 コントローラのふたを閉じる



- 時計を正しく合わせないと、割高な電気料金になる場合があります。
- 「電池チェック」を行っているときは、「日付・時刻の設定」ができません。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。
- 時計の精度は、月差±約60秒です。時刻が遅れたり、進んだりした場合は、時刻設定してください。
- 日時設定画面表示中は、時間のカウントが停止します。
時刻を現在時刻に合わせてください。

通常運転について

通常時、「おまかせ」運転か「おこのみ」運転のいずれか選択したモードで毎日繰り返し運転ができます。
また、ボタン操作で、「おまかせ」運転、「おこのみ」運転、「充電」運転、「放電」運転を開始したり、運転を切り換えることができます。なお、運転を切り換える場合は、約3秒間、待機状態となります。

1 「おまかせ」運転

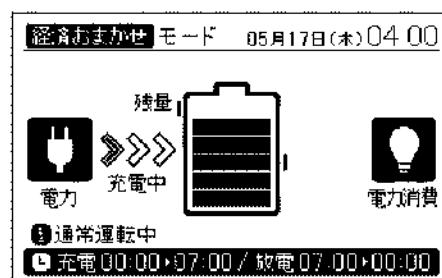
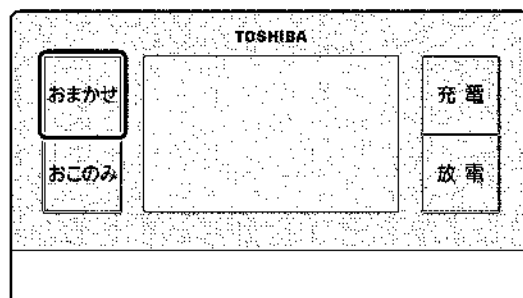
「おまかせ」運転は、毎日効率的な充放電運転を行います。
工場出荷時は、「経済おまかせモード」に設定されています。
「経済おまかせモード」以外のモードで運転する場合は、ボタン操作で異なるモードの運転に切り換えることができます。一度、モードを切り換えると、その後は、切り換えたモードの運転を繰り返します。
「おまかせ」運転と「おこのみ」運転（46ページ）は、どちらか一方しか運転できません。

1. 「経済おまかせモード」運転

1 「おまかせ」ボタン を押す※1、※2

- ※1：ボタン操作前（工場出荷状態）の場合、【おまかせ】ボタンを押すと「経済おまかせモード」運転を毎日繰り返します。
- ※2：液晶画面のバックライト（明かり）が消えているときにボタン操作すると、1回目のボタン操作はバックライト点灯の操作となります。2回目のボタン操作から、運転のための操作となります。（以降、すべてのボタン操作で同じです）

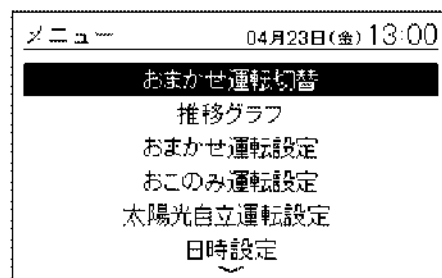
「経済おまかせモード」の運転画面が表示されます。



異なるモードから「経済おまかせモード」に運転を切り換える場合は、次の操作を行ってください。

2 コントローラのふたをひらく

3 [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「おまかせ運転切替」を選択する





4 [決定] ボタン を押す

5 [選択] ボタン を押して「経済おまかせモード」を選択する

おまかせ運転切替 04月23日(金)13:00

経済おまかせモード
環境おまかせモード
ピーク抑制モード
停電準備モード

6 [決定] ボタン を押す
「経済おまかせモード」で運転を開始します。

7 コントローラのふたを閉じる

2.「環境おまかせモード」運転

太陽光発電システムが併設されていない場合は、運転できません。

1 コントローラのふたをひらく

2 [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「おまかせ運転切替」を選択する

メニュー 04月23日(金)13:00

おまかせ運転切替
推移グラフ
おまかせ運転設定
おこのみ運転設定
太陽光自立運転設定
日時設定

3 [決定] ボタン を押す

4 [選択] ボタン を押して「環境おまかせモード」を選択する

おまかせ運転切替 04月23日(金)13:00

経済おまかせモード
環境おまかせモード
ピーク抑制モード
停電準備モード

5 [決定] ボタン を押す
「環境おまかせモード」で運転を開始します。

6 コントローラのふたを閉じる



3. 「ピーク抑制モード」 運転

1 コントローラのふたをひらく

2 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転切替」を選択する

メニュー	04月23日(金) 13:00
おまかせ運転切替	
推移グラフ	
おまかせ運転設定	
おこのみ運転設定	
太陽光自立運転設定	
日時設定	

3 [決定] ボタン **決定** を押す

4 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「ピーク抑制モード」を選択する

おまかせ運転切替	04月23日(金) 13:00
経済おまかせモード	
環境おまかせモード	
ピーク抑制モード	
停電準備モード	

5 [決定] ボタン **決定** を押す
「ピーク抑制モード」で運転を開始します。

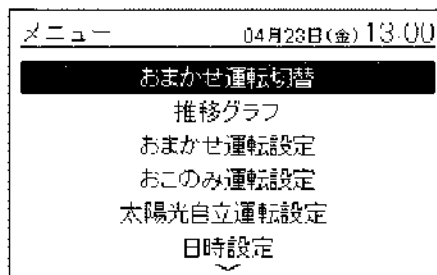
6 コントローラのふたを閉じる



4. 「停電準備モード」運転

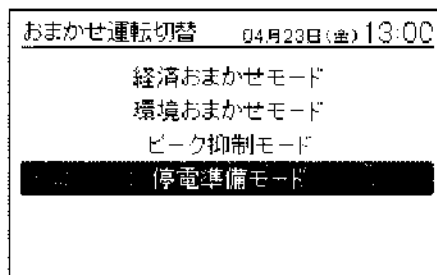
1 コントローラのふたをひらく

- 2 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「おまかせ運転切替」を選択する



3 [決定] ボタン **決定** を押す

- 4 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「停電準備モード」を選択する



5 [決定] ボタン **決定** を押す

「停電準備モード」で運転を開始します。

6 コントローラのふたを閉じる



- 表示された充電時間、放電時間で運転を行います。
- 電池残量が設定された残量未満になると、放電時間にかかわらず放電は終了します。
- 「ピーク抑制モード」運転の場合、日中放電して夕のピーク抑制時間前に、電池残量が「抑制前残量設定」値になると、「▲ 設定残量まで放電しました」が表示され、放電は停止します。
- 「停電準備モード」運転の場合、電池残量が「放電残量設定」値以下のときは、放電時間帯であっても、「放電残量設定」値になるまで充電します。
- 「おまかせ」運転中に、「おまかせ」ボタン **おまかせ** を押すと、「おまかせ」運転は停止します。「おまかせ」運転停止状態から再び「おまかせ」運転を始めたいときは、「おまかせ」ボタン **おまかせ** を押してください。
- 運転中に、同じモードの設定を変更し、再び運転に戻った場合、その時点で変更した設定が反映されます。なお、約3秒間待機後に、設定変更された運転になります。
- 「おまかせ」運転中に、「運転 切/入」ボタン **運転切/入** を3秒間長押しすると、運転は終了します。

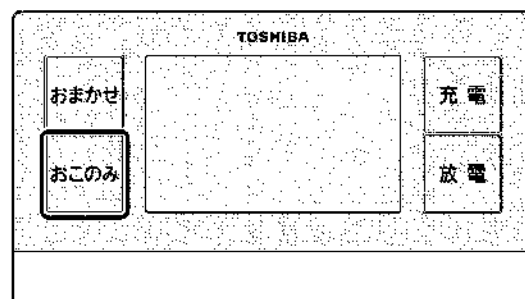


2 「おこのみ」運転

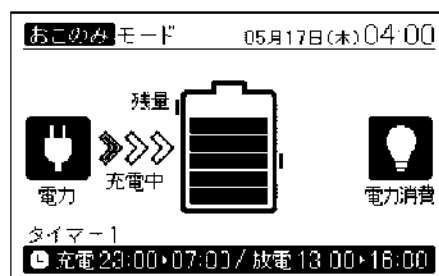
きめ細かく運転メニューを設定することで、ライフスタイルにより合った充放電運転することができます。
工場出荷時は、「おこのみモード」に設定しています。
「おこのみモード」で運転する場合は、ボタン操作で切り換えることができます。
一度、モードを切り換えると、その後は、切り換えたモードの運転を繰り返します。

1 「おこのみ」ボタン を押す*

※ ボタン操作前（工場出荷状態）の場合、「おこのみ」ボタンを押すと、「おこのみモード」運転を毎日繰り返します。



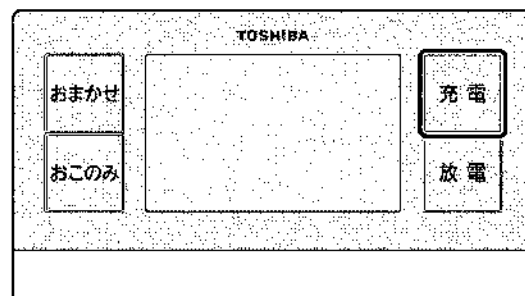
「おこのみモード」の運転画面が表示されます。



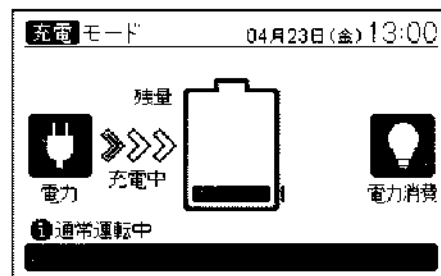
3 「充電」運転

ボタン操作で、充電を開始させたいときに使用します。

1 「充電」ボタン を押す



「充電」運転の画面が表示されます。

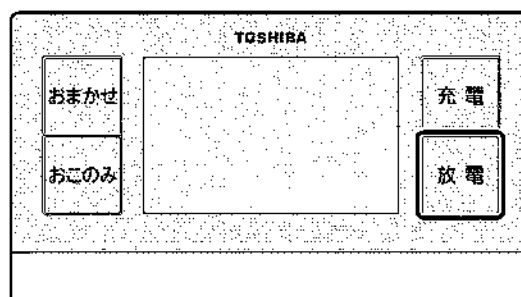


- この「充電」運転は、充電容量設定にかかわらず、フル充電します。
- フル充電に達した場合は、「充電」運転は終了し「充電」運転前の状態に戻ります。
- 「充電」運転中に「充電」ボタン を押すと、「充電」運転は終了し「充電」運転前の状態に戻ります。
- 「充電」運転中に、「運転 切/入」ボタン を3秒間長押しすると、運転は終了します。

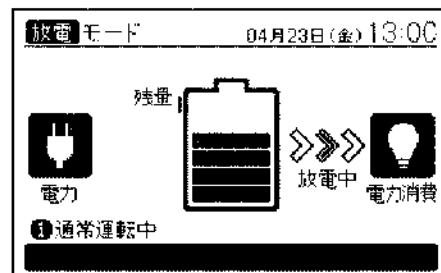
4 「放電」運転

ボタン操作で、放電を開始させたいときに使用します。

1 「放電」ボタン を押す



「放電」モードの運転画面が表示されます。



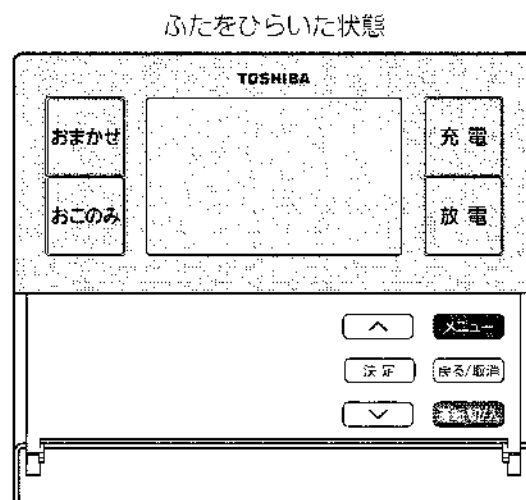
- この「放電」運転は、放電残量設定まで放電を行います。放電終了後は、「放電」運転前の状態に戻ります。
- 電池残量がゼロになると、「▲ 電池を使いきりました」が表示され、「放電」運転は終了し「放電」運転前の状態に戻ります。
- 「放電」運転中に、「放電」ボタン を押すと、「放電」運転は終了し「放電」運転前の状態に戻ります。
- 「放電」運転中に、「運転 切/入」ボタン を3秒間長押しすると、運転は終了します。

推移グラフを見る

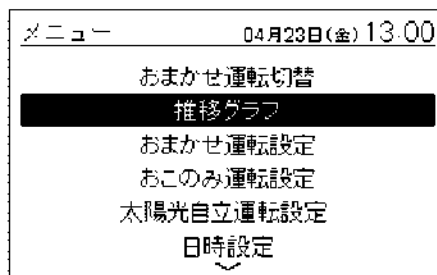
過去7日分の1日の充電量と残量の推移を表示します。

1 コントローラのふたをひらく

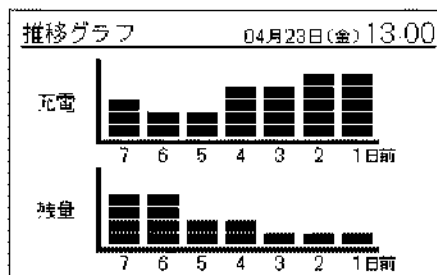
ふたの下ボタンで設定します。



2 [メニュー] ボタン を押し、[選択] ボタン を押して「推移グラフ」を選択する



3 [決定] ボタン を押す



推移グラフの画面が表示されます。

- 過去7日分の1日の充電量（00：00～24：00までの充電量）と00：00時点の残量を確認することができます。
- 充電と残量の表示は、最初の1目盛りの範囲は～約1.5kWhで、2目盛りは～約2.6kWh、以降1.2kWh増えるごとに目盛りが表示されます。
- 1日の充電量が7.4kWhを超えると、充電量は6目盛りを表示し、一番上の目盛りが点滅します。

4 [決定] ボタン を押す

「メニュー」画面に戻ります。

5 [戻る/取消] ボタン を押す

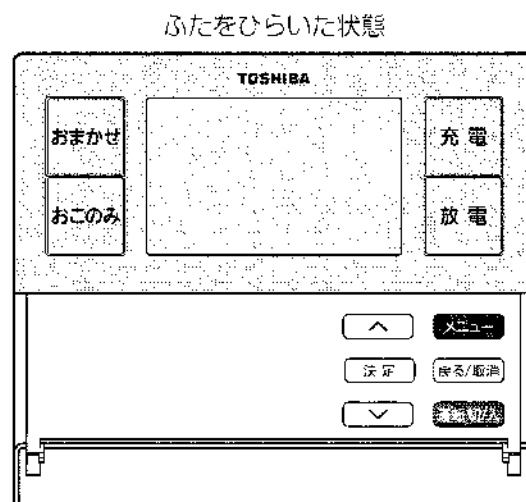
運転画面に戻ります。

6 コントローラのふたを閉じる

運転終了について

運転を終了したいときに使用します。

- 1 コントローラのふたをひらく
ふたの下ボタンで設定します。



- 2 [運転 切/入] ボタン  を3秒間長押しする
画面表示はすべて消え、運転を終了します。
(押した時間が3秒より短い場合、操作は無効で終了しません)

- 3 コントローラのふたを閉じる



- 再び運転を始めるには、[運転 切/入] ボタン  を押してください。このときの運転は、終了前に選択していた「おまかせ」運転が「おこのみ」運転になります。なお、運転終了前に、運転を停止していた場合は、運転停止中になります。

停電時の自立運転について

停電発生時に充電・放電を行います。

停電時は「おまかせ」運転、「おこのみ」運転はできません。また、「おまかせ」、「おこのみ」、「放電」のボタン操作は、受け付けません。「充電」のボタン操作は、太陽光発電システムが併設されているときにのみ使用できますが、それ以外では、使用できません。

1 停電発生時

停電が発生すると、停電から約3秒後に、停電自動放電モード画面が表示され、自動的に自立放電を行い選定負荷に通电します。



- 停電が発生し停電自立運転になるまでの間（約3秒間）は、選定負荷に通电されません。ビデオ機器やパソコンなどの記録機器を使用の際は、ご注意ください。
- 「使い切り」に設定した場合の自立放電は、電池の残量がなくなるまで放電を行います。残量がなくなると、コントローラから「ピー」とお知らせ音が1分間鳴り、運転を終了します。この場合、システムが復帰するまで運転できません。なお、コントローラのいずれかのボタンを押せばお知らせ音は止まりますが、それ以外のボタン操作はできません。
- 自立放電を終了したい場合には、「運転 切/入」ボタン  を3秒間長押ししてください。



- 停電時に蓄電システムから選定負荷に放電できる電力は、最大2kWです。この電力を超えて電気機器を運転すると、動作が止まります。また、電気機器によっては、電源投入時に大きな電流が流れる場合があるため、機器が使用できなかったり一時的に不安定な動作になることがあります。このようなときは、使用している電気機器の数を減らしてください。

2 停電時の充電

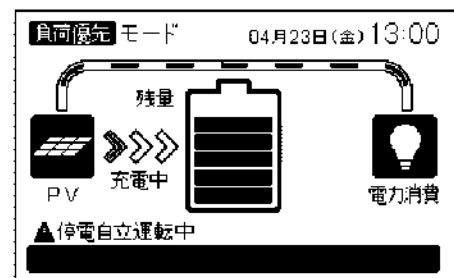
停電発生時に自立充電を行います。

停電時の充電は、太陽光発電システムが併設されているときだけ使用できます。



- 太陽光発電システムを自立運転に切り換えてください。切り換えないと充電できません。運転の切り換えについては、太陽光発電システムの取扱説明書をご確認ください。
- 太陽光発電システムの自立運転出力の電圧を蓄電システムが検知すると、約10秒間停電した後、充電を開始します。

太陽光発電システムからの電力を優先して選定負荷で使用します。太陽光発電システムからの電力が選定負荷で使用する電力より大きいときは、上回った電力分を蓄電システムに充電します。使用できる電力は、「太陽光自立運転」で設定した電力までです。



- 停電中の充電は、太陽光発電システムからの充電となり、通常時の充電に比べ充電電力が少ないため、充電するのに時間を要します。
- 太陽光発電システムの自立運転出力が停止（「PV接続表示」が表示されなくなる）すると充電は停止します。さらに太陽光発電システムの自立運転出力の停止が継続されると、「停電自動放電モード」となり約3秒間停電した後、自立放電をおこない選定負荷に通电します。「停電自動放電モード」で太陽光発電システムの自立運転出力が30分間継続されている（「PV接続表示」を30分間継続して表示）と、再び「太陽光自立運転モード」で運転します。なお、「PV接続表示」が表示されている状態で「太陽光自立運転モード」運転に戻りたい場合は、「充電」ボタンを押してください。
- フル充電に達した場合は、充電は終了します。
- 充電を終了したい場合は、「運転 切/入」ボタン **運転切/入** を3秒間長押ししてください。
- 太陽光発電システムが併設されていない場合は、停電時の充電はできません。



3 停電時の運転終了

1 [運転 切/入] ボタン を3秒間長押しする

画面表示はすべて消え、運転を終了します。

(押した時間が3秒より短い場合、操作は無効となり、運転は終了しません。)



- 再び運転を始めるには、[運転 切/入] ボタン  を押してください。停電が続いている場合の運転は、「停電発生時」(50ページ)が「停電時の充電」(51ページ)のいずれかから再開します。

4 停電からの復帰

停電から復帰すると、下の表示画面になり、電力会社の系統に接続されます。約300秒後に、自動的に停電前の状態に戻ります。



- 復帰の際、停電自立運転から電力会社の系統に切り換わるときに、一時的に選定負荷に通電されません。ビデオ機器やパソコンなどの記録機器を使用の際は、ご注意ください。
- 太陽光発電システム併設時は、太陽光発電システムを自立運転から系統運転に切り換えてください。

電池チェックについて

長くご愛用いただくため、年に2度、決まった時期に自動的に蓄電池の運転状態をチェックします。^{※1}

電池チェックは、終了するまで継続します。^{※2}

電池チェック中は、「おまかせ」、「おこのみ」、「放電」、「充電」運転はできません。

また、メニュー画面の「電池チェック」以外は、ボタン操作を受け付けません。

ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

なお、停電に備えて充電する必要がある場合等では、「電池チェック」を中止することができます。

電池チェックは実施日の07:00から始まり、次の動作になります。

① 07:00~00:00の間、電池残量がゼロになるまで、「経済おまかせモード」の制御で放電します。^{※3}

② 電池残量がゼロまで放電すると、次に、00:00~07:00の間、満充電になるまで充電します。^{※4}

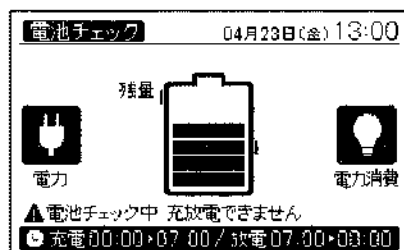
※1: 電池チェックは、毎年4月および9月に自動的に行われます。なお、この実施日は東芝HEMSのホームページ (<http://feminity.toshiba.co.jp/>) で確認することができます。

※2: 通常は1日(24時間)で終了しますが、2日以上かかる場合があります。電池チェック中に蓄電池本体開閉器をOFFにした場合は、本体開閉器をON後電池チェック前の運転を再開します。電池チェック中に故障した場合は、電池チェックは中止になります。

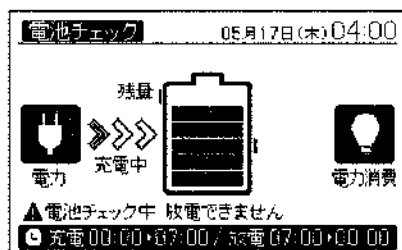
※3: 電池残量設定に係わらず、電池残量ゼロまで放電します。押し上げ効果開始設定は、「小」になります。他の運転モードに設定されている場合でも、「経済おまかせモード」で運転します。電池チェック中に停電があった場合、停電中は「太陽光向き運転モード」になりますが、停電復帰後は電池チェックを再開します。

※4: 充電容量設定に係わらず、満充電まで充電します。充電電力設定に係わらず、「中」で充電します。満充電まで充電完了すると、電池チェックを終了し、電池チェック前の運転モードに戻ります。充電中に停電になって復帰した場合は、充電を行わず、電池チェックを継続します。00:00までに電池残量がゼロにならなかった場合は、充電は行わず、電池チェックを継続します。

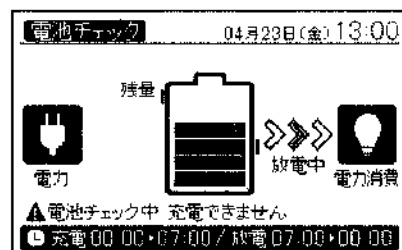
電池チェック中は、次のインフォメーション表示がされます。



待機中



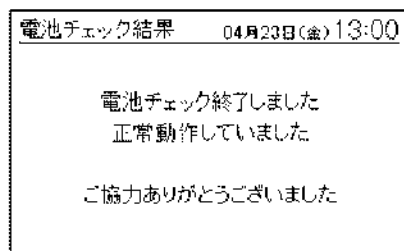
00:00~07:00



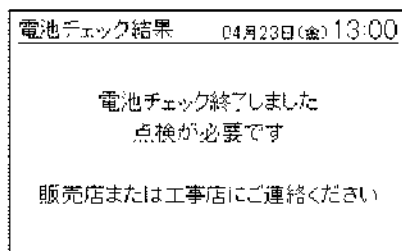
07:00~00:00

■ 電池チェック終了後の表示

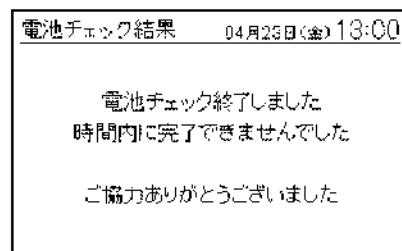
電池チェック終了時あるいはコントローラの液晶バックライトが消灯後初めてボタン操作時、約5秒間、次の画面が表示されます。



正常時



点検必要時



完了できなかったとき



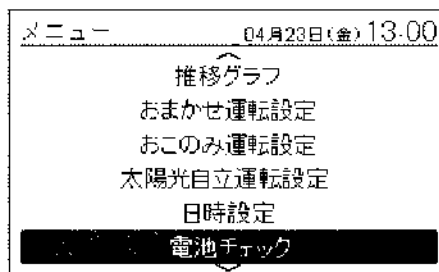
■「電池チェック」確認方法

電池チェックの結果を「メニュー」画面から確認することができます。*1

※1：電池チェックが完了しなかった場合、電池チェック結果は記録されません。

1 コントローラのふたをひらく

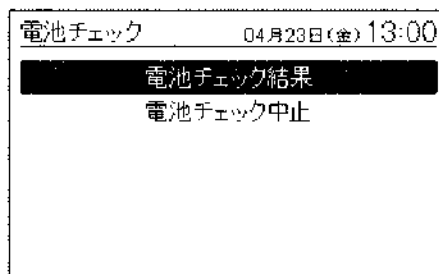
- 2 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「電池チェック」を選択する



- 3 [決定] ボタン **決定** を押す

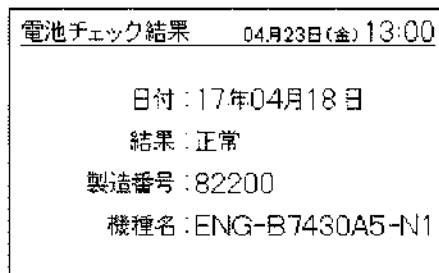
電池チェックの画面が表示されます。

- 4 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「電池チェック結果」を選択する



- 5 [決定] ボタン **決定** を押す

「前回の電池チェックモード」を実施した日付と結果を確認することができます。



- 6 [決定] ボタン **決定** を押す

「メニュー」画面に戻ります

- 7 [戻る/取消] ボタン **戻る/取消** を押す

- 8 コントローラのふたを閉じる

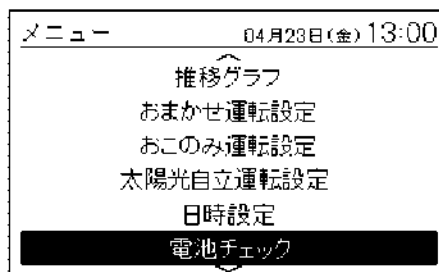


■「電池チェック」中止方法

電池チェック運転時に停電などのおそれがある場合、電池チェック運転を中止することができます。運転停止後、[充電] ボタン操作などで停電に備えてください。

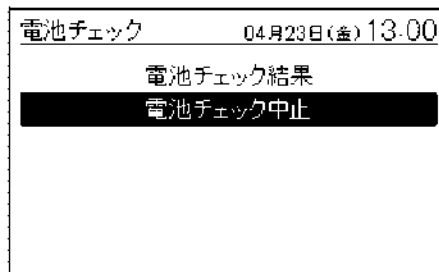
1 コントローラのふたをひらく

- 2 [メニュー] ボタン **メニュー** を押し、[選択] ボタン **↑** **↓** を押して「電池チェック」を選択する

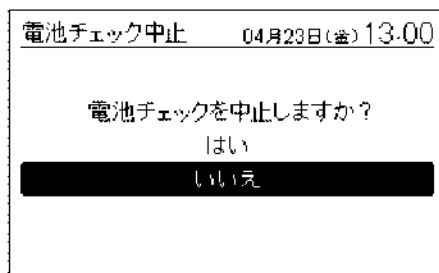


- 3 [決定] ボタン **決定** を押す
電池チェックの画面が表示されます。

- 4 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「電池チェック中止」を選択する



- 5 [決定] ボタン **決定** を押す
電池チェック中止画面が表示されます。



- 6 [選択] ボタン **↑** **↓** を押して「はい」を選択する

- 7 [決定] ボタン **決定** を押す
「メニュー」画面に戻ります

- 8 [戻る/取消] ボタン **戻る/取消** を押す

- 9 コントローラのふたを閉じる

このようなときには

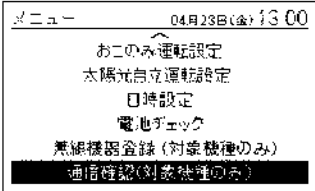
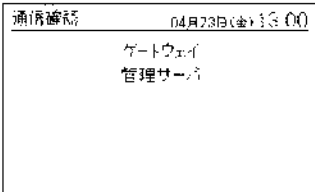
蓄電池本体から発生する次の音は、異常ではありません。

キュー音	蓄電池本体が起動する音です。
ブーン音	空冷ファンの音です。
カチッ音	運転切り換え時の音です。(充電、放電、停電時に発生します。)

以下のようなときには、この内容を確認し対処してください。

状態	対処方法
起動直後、「起動中」が表示される。	起動から約30秒間「起動中」の画面表示となります。故障ではありません。
起動直後、「通信エラー」が表示される。	蓄電池本体の開閉器(折路器)を「切(OFF)」した後、開閉器(断路器)を「入(ON)」にしてください。この操作をしても、「通信エラー」が表示されたままの場合は、販売店または工事店にご相談ください。
「本機種では選択できません」が表示される。	運転および設定ができない項目ですので、[戻る/取消]ボタンで1つ前の画面に戻り、次の項目に移ってください。
「充電容量設定が・・・再設定をしてください」が表示される。	充電容量設定は、電池残量設定より少ない値には設定できません。充電容量設定は、電池残量設定よりも大きな値に設定してください。
液晶画面のバックライト(明かり)が消える。	液晶画面のバックライトを再び点灯させるには、「おまかせ」、「おこのみ」、「充電」、「放電」ボタンのいずれかを押してください。なお、液晶画面のバックライトが点灯している間に、いずれかのボタンを押すと、押したボタンの運転に変わります。
コントローラの運転画面が表示されていない。(画面終了状態である。)	運転中に、[運転 切/入]ボタンを3秒間長押しすると、コントローラが停止し表示が消えます。もう一度、[運転 切/入]ボタンを押すと運転が始まり、コントローラの運転画面が表示されます。
液晶画面のバックライトが消えているとき、ボタン操作しても、液晶画面のバックライトが点灯するだけで、ボタン操作できない。	液晶画面のバックライト(明かり)が消えているときにボタン操作すると、1回目のボタン操作はバックライト点灯の操作となります。2回目のボタン操作からが、設定あるいは運転のための操作となります。故障ではありません。
日付・時刻が現在時刻と違う。 例) 01月01日(日) 00:00	長時間に渡り使用しないと、日付・時刻がクリアされる場合があります。再度、日付・時刻を設定してください。
充電運転時に、住宅用分電盤のブレーカー(しゃ断器)が「切(OFF)」になる。	電力会社との契約アンペアが不足している可能性があります。販売店または工事店にご相談ください。
夜間に充電されないことがある。	夜間に電気温水器などが使用されていると、契約アンペアに余裕がない場合、充電されないときがあります。 蓄電システムの通常充電には、200V、10A程度必要です。
近所は停電していないのに、「停電自立運転モード」になる。	電気機器の異常や使用電力が多過ぎて、住宅用分電盤のブレーカー(しゃ断器)が「切(OFF)」になったことが考えられます。 ブレーカー(しゃ断器)が「切(OFF)」になった場合は、電気機器の異常がないか確認したり使用している電気機器の数を減らしたりしてから、ブレーカー(しゃ断器)を「入(ON)」にしてください。 ブレーカー(しゃ断器)が「入(ON)」のまま「停電自立運転モード」になっている場合は、販売店または工事店にご相談ください。



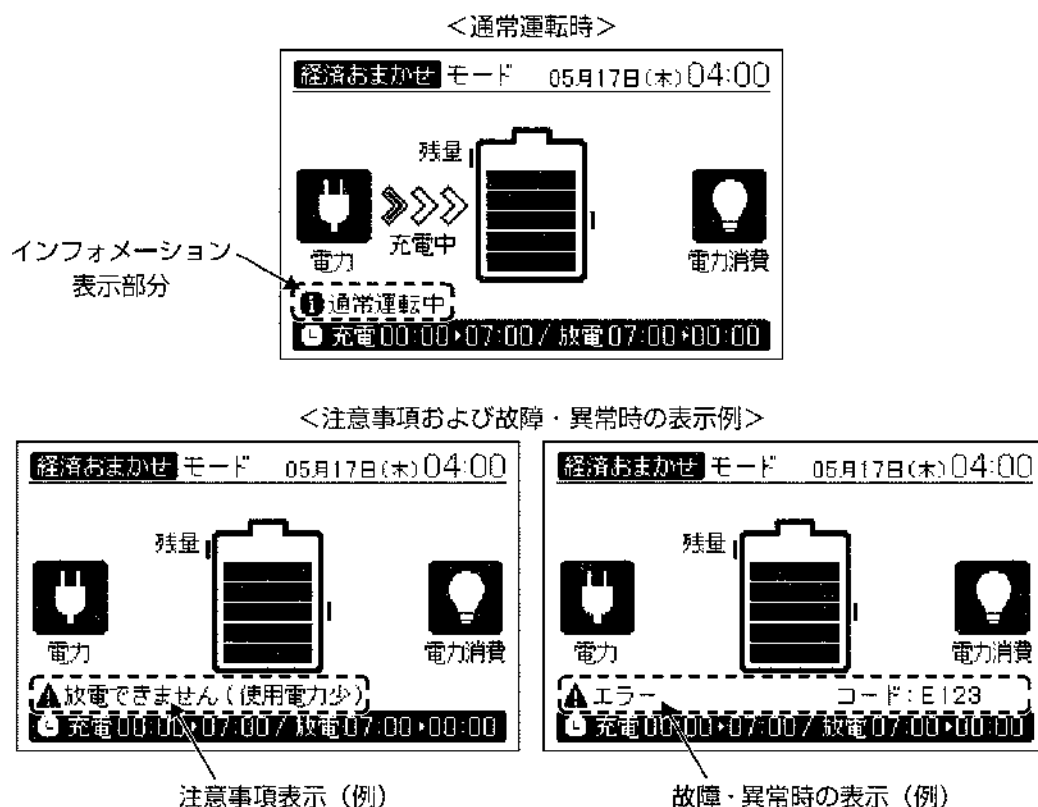
電気機器の動作が不安定になったり、停止する。	電気機器によっては、電源投入時に大きな電流が流れる場合があるため、機器が使用できなかったり一瞬不安定な動作になることがあります。 また、本蓄電システムの供給電力限界まで、電気機器を運転すると、不安定な動作になったり動作が止まる場合があります。使用している電気機器の数を減らしてください。
停電時に、一旦、通電が停止する。	本蓄電システムはPS（無停電電源装置）ではありません。停電時および停電からの復帰時には、一時的に選定負荷に通電されません。
停電時、[運転 切/入] ボタンを押しても、コントローラの画面表示が消えている。	停電中は、運転できない状態です。 停電から復帰した後に、[運転 切/入] ボタンを押してください。 このとき、インフォメーション表示にエラーコードが表示されたら、「エラーコード表示と確認・処置」（59ページ）に従ってください。
充電時間が長い。	多くの電気機器を使用していると、充電時間が長くなります。 また、停電時は、太陽光発電システムからの充電だけになるため、充電時間が長くなります。使用している電気機器の数を減らしてください。
風水害のおそれがある。	予め、蓄電池本体の開閉器（断路器）を「切（OFF）」にしてください。 選定負荷につないだ機器を使用する場合は、蓄電システム用分電盤の「切替開閉器」を手動で「通常時側」から「保守時側」に切り換えてください。
エラーコードが表示され、コントローラのボタン操作ができない。	蓄電池本体の開閉器（断路器）で電源リセットし、コントローラの「運転 切/入」 ボタンを押して運転を再開してください。 詳しくは、「エラーコード表示と確認・処置」（59ページ）をお読みください。
契約アンペア [※] を変更した。	契約アンペアを変更した場合は、販売店または工事店にご相談ください。
通信確認（対象機種のみ）を行なう場合	1. メニューから「通信確認（対象機種のみ）」を選択します。 2. 確認する通信相手側の機器を選択します。 3. 通信確認中の表示後に「通信に成功しました」あるいは、「通信に失敗しました」と表示が出ます。  

注）契約アンペア：電力会社によって異なります。詳しくは、電力会社にお問合せください。

注意事項および故障・異常時の表示と処置方法

コントローラの下記の部分に、注意事項や故障・異常時のエラーコードが表示されます。

- (1) コントローラのインフォメーション表示部分に、**▲**マークが表示され「放電できません（使用電力少）」などの注意事項が表示されます。詳しくは、13～14ページをご覧ください。
- (2) 故障や異常時などには、インフォメーション表示部分に「**▲**エラー」と表示され、右側にエラーコードが表示されます。エラーコードと確認・処置方法は「エラーコード表示と確認・処置」（59ページ）に記載しています。



■ インフォメーションの表示内容と確認・処置

表示	内容	確認・処置
▲ タイマー1・2が重複	タイマー1とタイマー2の充電・放電設定時刻が重なっています。	タイマー1と2それぞれの設定時刻を確認し、充電・放電時刻が重ならないように設定時刻を変更してください。
▲ 放電できません（使用電力少）	系統から一定の電力負荷を使用していないと放電できません。（約60秒間）※1	片相20W以上の電力負荷を使用すると放電します。
▲ 電池を使いぎりました	電池残量がありません。	速やかに充電をしてください。
▲ エラー	エラーが発生したことを示します。	「エラーコード表示と確認・処置」（59ページ）に従って、処置をしてください。

※1：片相ずつ20W以上使用していないと放電できません。

■ エラーコード表示と確認・処置

運転	エラーコード	確認・処置
通常時	C002～C008、C011、C012、C017、C020、C041、C042、C043、E048、C053、C054、C066～C069	自動復帰します。しばらくお待ちください。
	E009、E010、E013～E016、E018、E019、E021、E023～E025、E027、E029、E032～E040、E044～E047、E049、E059、E062、E260～E262、E265、E266、E270～E272、E274、E280、E281	蓄電池本体の開閉器（断路器）で電源をリセットしてください。その後、コントローラの「運転 切/入」ボタンを押して運転を再開してください。
停電時	E018、C050	選定負荷で使用している電気機器の数を減らしてください。その後、コントローラの「運転 切/入」ボタンを押して運転を再開してください。
	C011、C012、C017、C020、C041、C043、E048、E058	自動復帰します。しばらくお待ちください。
	E009、E010、E018、E021、E023～E025、E260～E262、E265、E266、E270～E273、E275、E276、E280、E281	コントローラの「運転 切/入」ボタンを押して運転を再開してください。
停電から復帰時	C054	太陽光発電システムの運転を自立運転から、系統連系の運転に切り換えてください。

上記以外のエラーコードが表示されている場合や、処置を行っても直らない場合は、蓄電池本体の開閉器（断路器）をOFF（レバーを下げる）にして、販売店または工事店にご連絡ください。

■ 本体の開閉器（断路器）のリセット方法

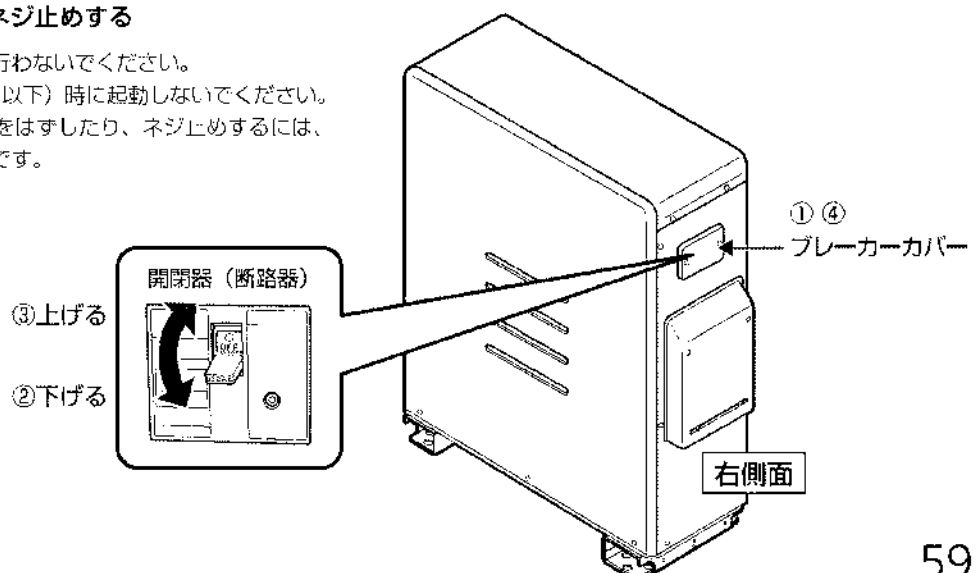
蓄電池本体の開閉器（断路器）は右側面のブレーカーカバーの中にあります。

- ① 本体右側面のブレーカーカバーのネジをはずし、ブレーカーカバーを開ける
- ② 開閉器（断路器）のレバーを下げる（OFFにする）
- ③ しばらくの後（10秒程度）開閉器（断路器）のレバーを上げる（ONにする）
- ④ ブレーカーカバーをネジ止める

※ 上記以外の操作は絶対に行わないでください。

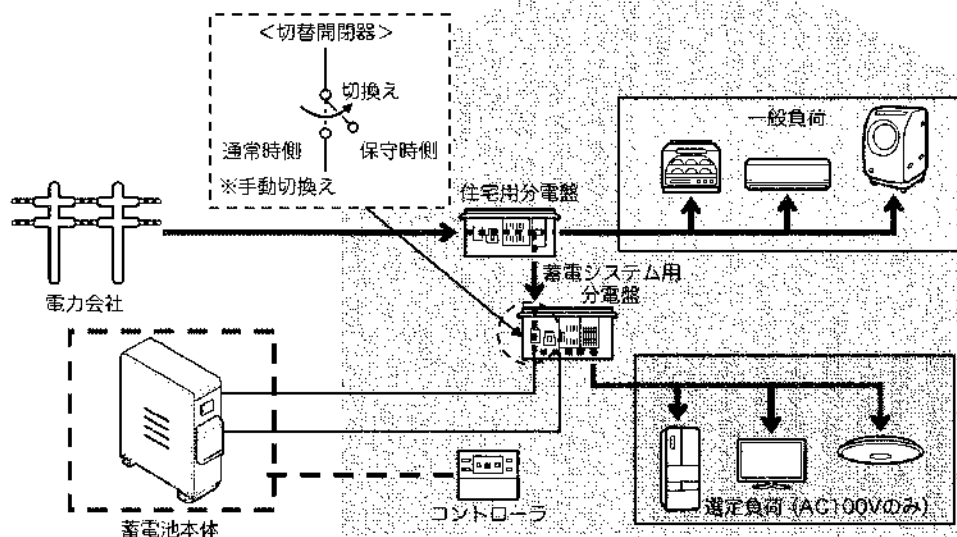
※ 周囲温度が低温（-20℃以下）時に起動しないでください。

※ ブレーカーカバーのネジをはずしたり、ネジ止めるには、プラスドライバーが必要です。





蓄電池本体の開閉器（断路器）を下げた（OFFにした）場合、選定負荷が使用できなくなります。選定負荷を使用したい場合は、蓄電システム用分電盤に内蔵されている「切替開閉器」を「通常時側」から「保守時側」に手動で切り換えることにより、選定負荷につないだ機器を使用することができます。



知っておいていただきたいこと

- 家庭用以外には使用しないでください。

この蓄電システムは家庭用です。業務用には使用しないでください。
業務用に使用して事故や故障が発生した場合は、保証の対象外になります。

- 屋内では使用しないでください。^{※1}

この蓄電システムは屋外用です。屋内で使用して事故や故障が発生した場合は、保証の対象外になります。

※1：一般家庭でご使用の場合です。一般家庭でない場合は、販売店または当社にお問合せください。

- 許容電力以上は使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超えたり、たこ足配線で定格を超えないでください。
故障の原因になります。

- 系統に対して放電（逆潮流）しないように、ある程度、系統から電力を使用していないと放電できません。

- 太陽光発電システムが併設されており、押し上げ効果がない場合に逆潮流が発生（いわゆる売電）しているとき、また逆潮流から復帰したとき（売電終了後）に、一定時間運転できません。

- 電気機器によっては、電源投入時に大きな電流が流れる場合があるため、機器が使用できなかったり一瞬不安定な動作になることがあります。また、本蓄電システムの供給電力限界まで、電気機器を運転すると、不安定な動作になったり動作が止まる場合があります。

- 停電時および停電からの復帰時には、一時的に選定負荷に通電されません。ビデオ機器やパソコンなどの記録機器をご使用の際は注意してください。パソコンはバッテリー内蔵のものをご使用ください。データの保存やバックアップは、お客様ご自身の責任で行ってください。

- コントローラを掃除するときはアルコール・ベンジン・シンナー・酸性洗剤やアルカリ洗剤・漂白剤・研磨剤などを使用しないでください。また、化学ぞうきんでこすったりしないでください。
変色・変質や変形の原因になります。

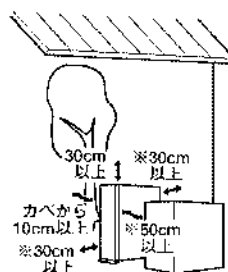
- 蓄電池本体の吸気口、排気口をふさがないでください。

停止したり、故障したりします。

冬季は積雪でふさがれることがあります。点検して取り除いてください。

- サービススペースが確保されているか確認してください。

右図のスペースを確保してください。



- 長期間留守にするなどで分電盤のブレーカーをOFFにしておく場合は、先にフル充電した後に蓄電池本体の開閉器（断路器）をOFFにしてください。

長期間放置する場合でも、3ヶ月に1回程度は充電してください。



知っておいていただきたいこと

- 運転中に異常（異臭や異音など）を感じたり、浸水等の風水害被害、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。この処置を行った場合は使用できません。
 1. 蓄電システムの運転を停止する。
コントローラの「運転 切/入」ボタン  を3秒間長押しして、運転を停止してください。
 2. 蓄電池本体の開閉器（断路器）を切る。
 3. 担当の販売店または工事店に連絡する。
- 蓄電システムの移設・付帯工事・修理や機器の保守・点検をする場合は、必ず担当の販売店または工事店に依頼してください。また、移設などを行う場合、電力会社への手続きが必要な場合があります。詳しくは、電力会社にお問合せください。

移設など	必要な電力会社への手続き
増改築による移設の場合 (電気の使用場所に変更のない場合)	変更手続き
引っ越しによる移設 (電気の使用場所に変更のある場合)	引っ越し前：連系廃止手続き 引っ越し後：連系申請手続き
引っ越しなどによる廃止	連系廃止手続き

- この製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。資源の有効利用および環境保護のため、リサイクルのご協力をお願いいたします。ご使用済みリチウムイオン電池を廃棄する場合は、専門の処理業者に委託してください。ご不明な点はお買い上げの販売店または当社にお問合せください。

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

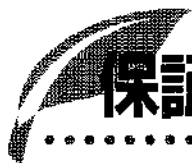
FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

リチウムイオン電池はリサイクルへ



Li-ion

蓄電池総質量：88kg



保証に関する免責事項(重要なお知らせ) **必ずお読みください**

下記内容および取扱説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 取扱説明書の内容を守らなかったために発生した不具合。
- 重塩害地向け製品においては所定のメンテナンスプログラムをお受けにならなかった場合。
- 誤ったで使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雪など）、海岸付近（重塩害地向け製品を除く）、温泉地などの地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気などの空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- 電力会社や太陽光発電システムからの電気の供給トラブルによる故障および損傷や停電。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載された場合の故障および損傷。）
- 湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷や錆。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・鳥・カエル・ヤモリ・くも・昆虫類などの侵入による故障および損傷。
- コントローラに水をかけた場合。（コントローラは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。）
- 機器の故障に起因した補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（この製品は日本国内専用です。）

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。

また、アフターサービスもできません。

This product is designed for used only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1 蓄電池本体

系統連系可能な蓄電システムです。

形名		ENG-B7430A5-N1 ENG-B7430A5-N2 ENG-B7430A5-N3	ENG-B7430A5-N4 ENG-B7430A5-N5
蓄電池部	電池種類	東芝二次電池 S C i B ™	
	蓄電容量※ ¹	7.4kWh	
	充電時間	通常充電時：約5時間 急速充電時：約3時間※ ²	
入力	定格電圧	通常時：単相三線式200V 停電時：単相二線式100V	
	周波数	50/60Hz	
出力	定格電圧	通常時：単相二線式200V（単相三線に接続） 停電時：単相二線式100V	
	定格電力	通常時：3.0kVA 停電時：2.0kVA	
	周波数	50/60Hz	
運転音		35dB以下	
使用条件	設置場所	屋外	
	使用温度範囲	-20℃～40℃※ ³	
	使用湿度範囲	10～95%RH（結露なきこと）	
本体構造	外形寸法	W：780mm D：300mm H：875mm（突起部除く）	
	質量	約133kg	

※：充放電運転をしていない場合でも非停電時約40W、停電時約30Wの電力を消費します。

※¹：電気機器が実際に使用できる電力量は、電力変換損失（定格出力時約6%）分だけ少なくなります。

※²：[充電] ボタン操作で行う「充電」運転は、急速充電になります。

※³：設置地域によっては、環境条件により設置できないことがあります。

設置の環境条件については販売店にお問合せください。

2 コントローラ

形名		ENG-C20A5	ENG-C50A5
使用条件	設置場所	屋内	
構造	外形寸法	W：146mm D：22mm H：120mm	
	取付方法	壁露出固定	
通信用アダプタ	通信方法	有線LAN 100BASE-TX/ 10BASE-T _e	920MHz帯無線 Wi-SUN Single-Hop HAN
	対応プロトコル	ECHONET Lite™	

※：HEMS機器の設定・接続は、HEMS機器の設定ガイドを参照ください。

※：Wi-SUNはWi-SUN Allianceの登録商標です。

※：ECHONET Liteはエコーネットコンソーシアムの商標です。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

- この東芝定置式家庭用蓄電システムには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 東芝定置式家庭用蓄電システムの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がないときは当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、56～60ページの内容をお調べください。それでも異常が認められるときは、コントローラのエラーコードを確認して、ご使用を中止し、本体のブレーカーを「切 (OFF)」にしてから上記の窓口にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

出張修理

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときは、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	東芝定置式家庭用蓄電システム		
形名	本体形名		
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に (エラーコード)		
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。		
お名前			
電話番号			
訪問希望日			
便利メモ			

転居または機器を移転・廃棄するとき

- 転居するときは前ページの窓口にご相談ください。
- 移設・廃棄するときはお客さま自身で行わず、前ページの窓口にご相談ください。
- 移設・廃棄するときは下記の手続きが必要です。前ページの窓口にご相談ください。

移設など	必要な電力会社への手続き
増改築による移設の場合（電気の使用場所に変更のない場合）	変更手続き
引っ越しによる移設（電気の使用場所に変更のある場合）	引っ越し前：連系廃止手続き 引っ越し後：連系申請手続き
引っ越しなどによる廃止	連系廃止手続き



愛情点検

長年ご使用の蓄電池の点検を！

このような
症状は
ありませんか。

- 焦げくさいニオイがする。
- ブレーカーが頻繁に落ちる。
- 取付部品が腐食していたり、取付がゆるんだりしている。
- 誤って異物や水を入れてしまった。
- 運転音が異常に大きい。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の
ときは、ご使用を
中止してお買い上げの
販売店や工事店、
または上記の窓口にご
相談ください。

東芝ライテック株式会社

住空間照明機器事業部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

(18900086)